

# コマツ 2019年度 第2四半期(中間) 決算説明会

2019年10月30日(水)

コマツ出席者

代表取締役社長(兼)CEO

執行役員CFO

執行役員経営管理部長

小川 啓之

堀越 健

今吉 琢也

## I. 2019年度 第2四半期(中間)決算の概要 <P3-P13>

- P4-6 : 2019年度第2四半期(7-9月)の概況
- P7-8 : 2019年度上期(4-9月)の概況
- P9-10 : <建設機械・車両> 2019年度上期(4-9月)の状況
- P11 : <リテールファイナンス> 2019年度上期(4-9月)の状況
- P12 : <産業機械他> 2019年度上期(4-9月)の状況
- P13 : 連結貸借対照表

## II. 2019年度の見通し <P14-P29>

- P15-16 : 2019年度の見通し(概況・セグメント売上高・利益)
- P17-18 : <建設機械・車両> 2019年度の売上高とセグメント利益の見通し
- P19 : <リテールファイナンス> 2019年度の資産と収益の見通し
- P20 : <産業機械他> 2019年度の売上高とセグメント利益の見通し
- P21-26 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し(全体及び地域別)
- P27-28 : <建設機械・車両> 鉱山機械の需要・売上高の見通し
- P29 : <建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

## 参考資料 <P30-P38>

- P31-35 : 四半期毎の状況
- P36-38 : BBレシオ〔受注/売上指数(6ヶ月)〕

# I. 2019年度 第2四半期（中間）決算の概要

- ・ 連結売上高は前年同期比▲10.2%減収の6,037億円。
- ・ 営業利益は前年同期比▲35.5%減益の672億円、売上高営業利益率は▲4.4ポイント減の11.1%。
- ・ 純利益は前年同期比▲31.8%減益の425億円。

金額単位：億円	2018年7-9月	2019年7-9月	前年同期比	
	¥111.2/USD ¥129.6/EUR ¥16.4/RMB	¥107.9/USD ¥120.0/EUR ¥15.5/RMB	増減	増減率
連結売上高	6,719	6,037	▲ 682	▲10.2%
セグメント利益	1,032	679	▲ 352	▲34.2%
その他の営業収益(▲費用)	10	▲ 7	▲ 17	-
営業利益	1,042	672	▲ 370	▲35.5%
売上高営業利益率	15.5%	11.1%	▲4.4ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 46	▲ 59	▲ 12	-
税引前純利益	995	613	▲ 382	▲38.4%
当社株主に帰属する当期純利益	624	425	▲ 198	▲31.8%

- ・建設機械・車両部門の売上高は前年同期比▲9.3%減収の5,501億円。セグメント利益は前年同期比▲36.1%減益の611億円。セグメント利益率は▲4.7ポイント悪化し11.1%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は前年同期比+15.3%増収の175億円。セグメント利益は前年同期比▲16.7%減益の34億円。
- ・産業機械他部門の売上高は前年同期比▲28.8%減収の397億円。セグメント利益は前年同期比▲22.0%減益の34億円。

□ % : 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2018年7-9月	2019年7-9月	前年同期比	
			増減	増減率
<b>売上高</b>	6,719	6,037	▲682	▲10.2%
建設機械・車両	(6,030) 6,063	(5,487) 5,501	(▲543) ▲561	(▲9.0%) ▲9.3%
リテールファイナンス	(136) 151	(156) 175	(+20) +23	(+14.8%) +15.3%
産業機械他	(552) 557	(393) 397	(▲159) ▲160	(▲28.8%) ▲28.8%
消去	▲53	▲36	+16	-
<b>セグメント利益</b>	□15.4% 1,032	□11.3% 679	□▲4.1ポイント ▲352	▲34.2%
建設機械・車両	□15.8% 956	□11.1% 611	□▲4.7ポイント ▲344	▲36.1%
リテールファイナンス	□26.9% 40	□19.5% 34	□▲7.4ポイント ▲6	▲16.7%
産業機械他	□8.0% 44	□8.8% 34	□+0.8ポイント ▲9	▲22.0%
消去または全社	▲9	▲0	+8	-

## 各セグメントの状況：

### ■ 建設機械・車両

物量減及び為替差のマイナス影響により減収、物量減及び地域構成差等により減益。

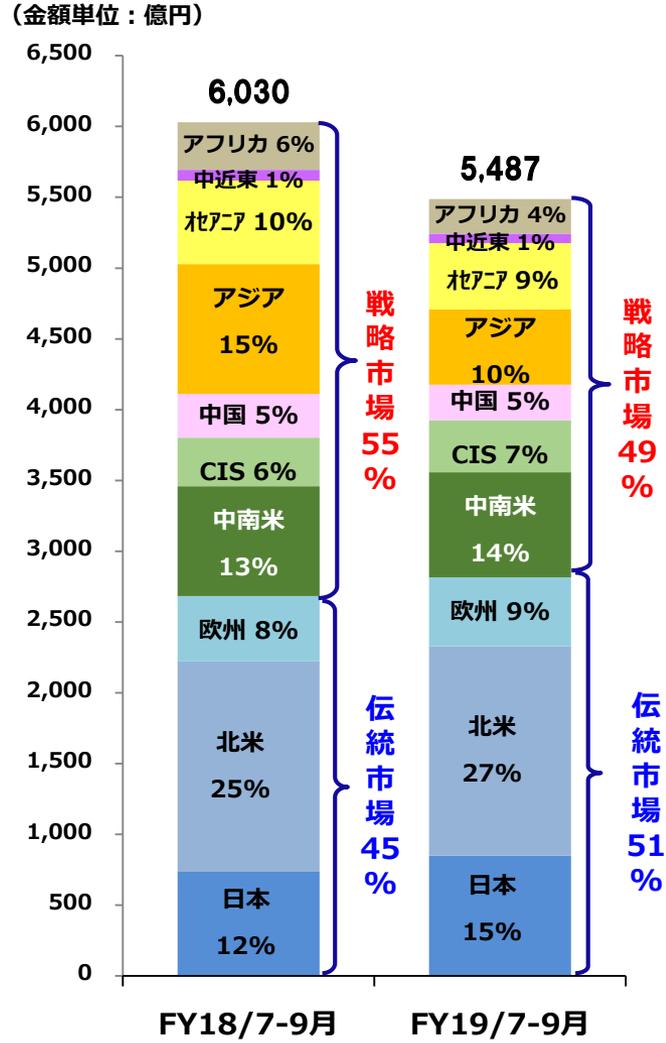
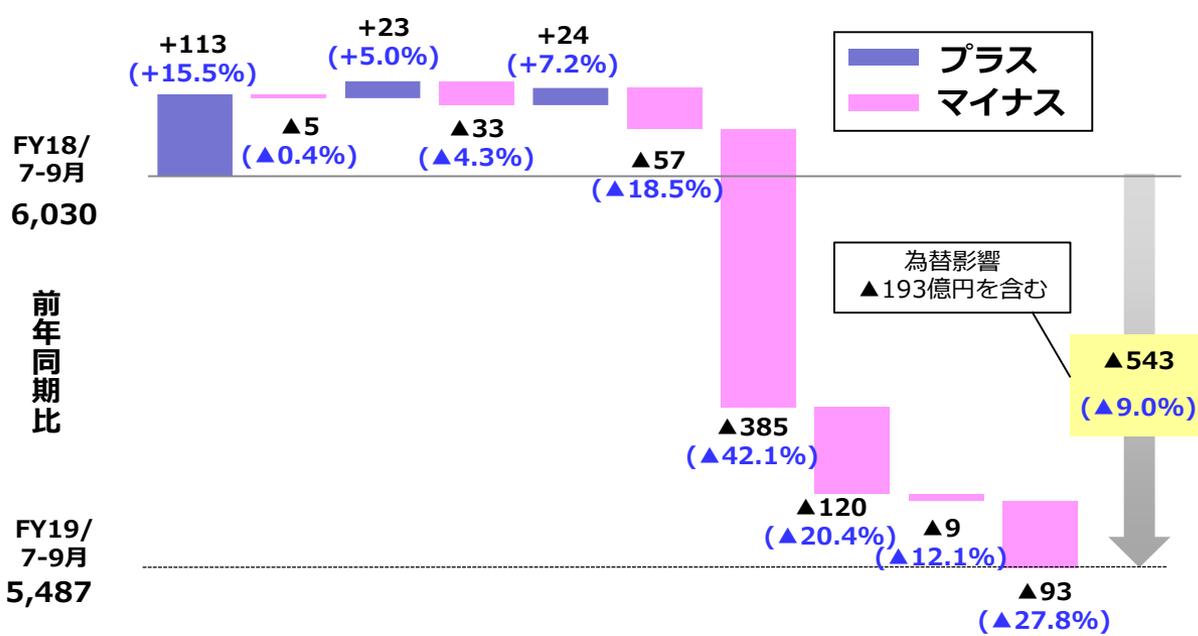
### ■ リテールファイナンス

平均資産残高の増加により増収。前年同期の中国での債権回収に関する引当金戻し益がなくなったこともあり減益。

### ■ 産業機械他

自動車業界向け鍛圧機械及び工作機械の販売減に加え、半導体市場向けエキシマレーザー関連製品の販売減に伴い減収減益。

- 外部顧客向け売上高は前年同期比▲9.0%減収の5,487億円。
- 日本、CIS、欧州で売上高が増加した一方、アジア、オセアニア、アフリカでの減少が大きく、売上高は減少。
- 伝統市場の比率は51%に上昇。



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
FY18/7-9月	735	1,485	462	774	343	309	916	589	76	337	6,030
FY19/7-9月	849	1,479	486	741	367	252	530	469	66	243	5,487
増減	+113	▲5	+23	▲33	+24	▲57	▲385	▲120	▲9	▲93	▲543

※ 為替影響を除くベースでプラスの地域

伝統市場 (日本, 北米, 欧州, CIS)  
 戦略市場 (中国, アジア, オセアニア, 中近東, アフリカ)

※ 為替影響を除くベースでプラスの地域

- ・ 連結売上高は前年同期比▲7.9%減収の1兆2,134億円。
- ・ 営業利益は前年同期比▲29.1%減益の1,419億円、売上高営業利益率は▲3.5ポイント減の11.7%。
- ・ 純利益は前年同期比▲28.2%減益の900億円。

金額単位：億円	2018年4-9月 ¥109.7/USD ¥129.9/EUR ¥16.8/RMB	2019年4-9月 ¥109.0/USD ¥121.6/EUR ¥15.8/RMB	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	13,180	12,134	▲ 1,045	▲7.9%
セグメント利益	1,991	1,406	▲ 584	▲29.3%
その他の営業収益	11	12	+1	-
営業利益	2,003	1,419	▲ 583	▲29.1%
売上高営業利益率	15.2%	11.7%	▲ 3.5ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 77	▲ 137	▲ 59	-
税引前純利益	1,925	1,282	▲ 642	▲33.4%
当社株主に帰属する当期純利益	1,253	900	▲ 353	▲28.2%
一株当たり配当金 (円)	51円	55円	+4円	

- ・建設機械・車両部門の売上高は前年同期比▲7.4%減収の1兆1,116億円。セグメント利益は前年同期比▲29.4%減益の1,298億円。セグメント利益率は▲3.6ポイント悪化し11.7%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は前年同期比+18.2%増収の347億円。セグメント利益は前年同期比▲28.9%減益の68億円。
- ・産業機械他部門の売上高は前年同期比▲24.0%減収の737億円。セグメント利益は前年同期比▲46.2%減益の40億円。

□ % : 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2018年4-9月	2019年4-9月	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	13,180	12,134	▲ 1,045	▲7.9%
建設機械・車両	(11,951) 12,005	(11,093) 11,116	(▲858) ▲889	(▲7.2%) ▲7.4%
リテールファイナンス	(266) 294	(311) 347	(+45) +53	(+17.0%) +18.2%
産業機械他	(962) 970	(730) 737	(▲232) ▲233	(▲24.1%) ▲24.0%
消去	▲ 90	▲ 67	+23	-
セグメント利益	□ 15.1% 1,991	□ 11.6% 1,406	□ ▲3.5ポイント ▲ 584	▲29.3%
建設機械・車両	□ 15.3% 1,839	□ 11.7% 1,298	□ ▲3.6ポイント ▲541	▲29.4%
リテールファイナンス	□ 32.6% 95	□ 19.6% 68	□ ▲13.0ポイント ▲27	▲28.9%
産業機械他	□ 7.7% 75	□ 5.5% 40	□ ▲2.2ポイント ▲34	▲46.2%
消去または全社	▲ 19	0	+19	-

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

物量減及び為替差のマイナス影響により減収、物量減及び地域構成差等により減益。

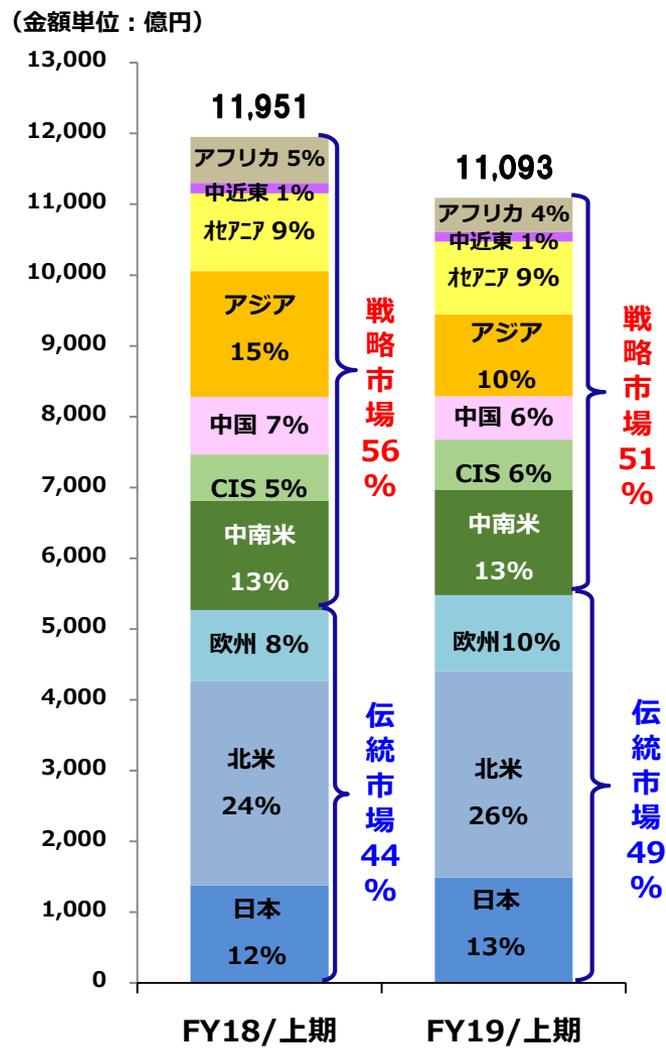
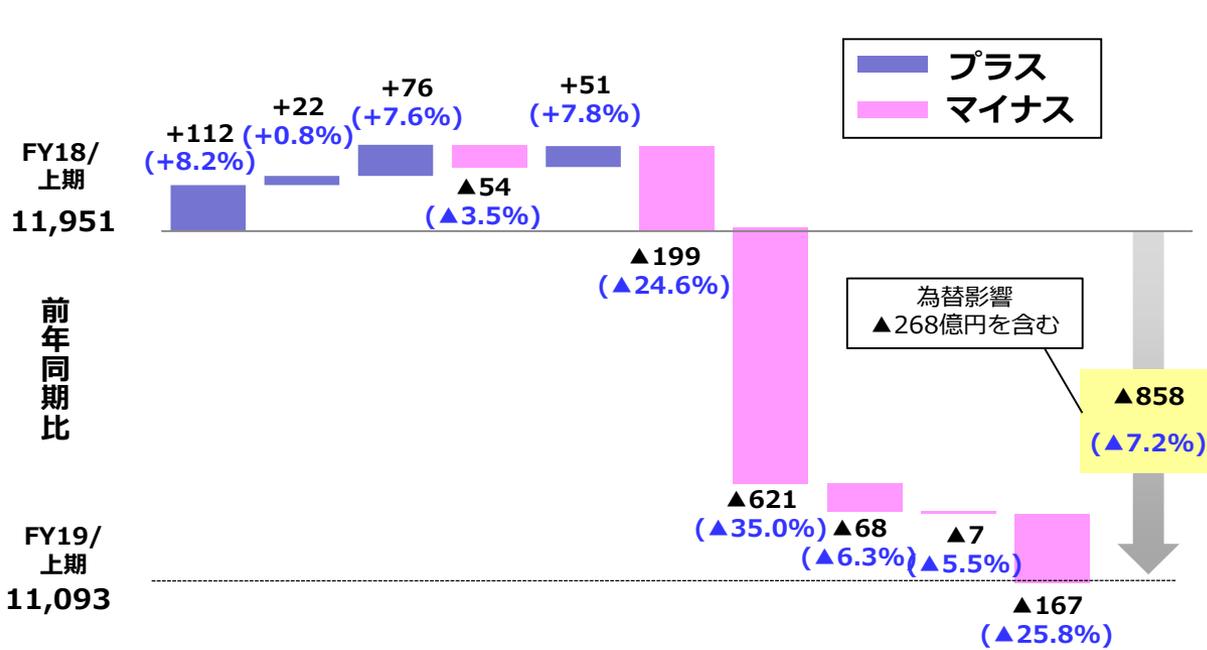
■ リテールファイナンス

平均資産残高の増加により増収。前年同期の中国での債権回収に関する引当金戻し益がなくなったこともあり減益。

■ 産業機械他

自動車業界向け鍛圧機械及び工作機械の販売減に加え、半導体市場向けエキシマレーザー関連製品の販売減に伴い減収減益。

- 外部顧客向け売上高は前年同期比▲7.2%減収の1兆1,093億円。
- 日本、欧州、CIS等で売上高が増加した一方、アジア、中国、アフリカでの減少が大きく、売上高は減少。
- 伝統市場の比率は49%に上昇。



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
FY18/上期	1,374	2,891	1,001	1,541	656	814	1,776	1,099	144	651	11,951
FY19/上期	1,487	2,914	1,077	1,486	708	614	1,154	1,030	136	483	11,093
増減	+112	+22	+76	▲54	+51	▲199	▲621	▲68	▲7	▲167	▲858
	※	※	※		※						

伝統市場 (日本, 北米, 欧州, CIS, 中南米, 欧州, 北米, 日本)  
戦略市場 (中国, アジア, オセアニア, 中近東, アフリカ)

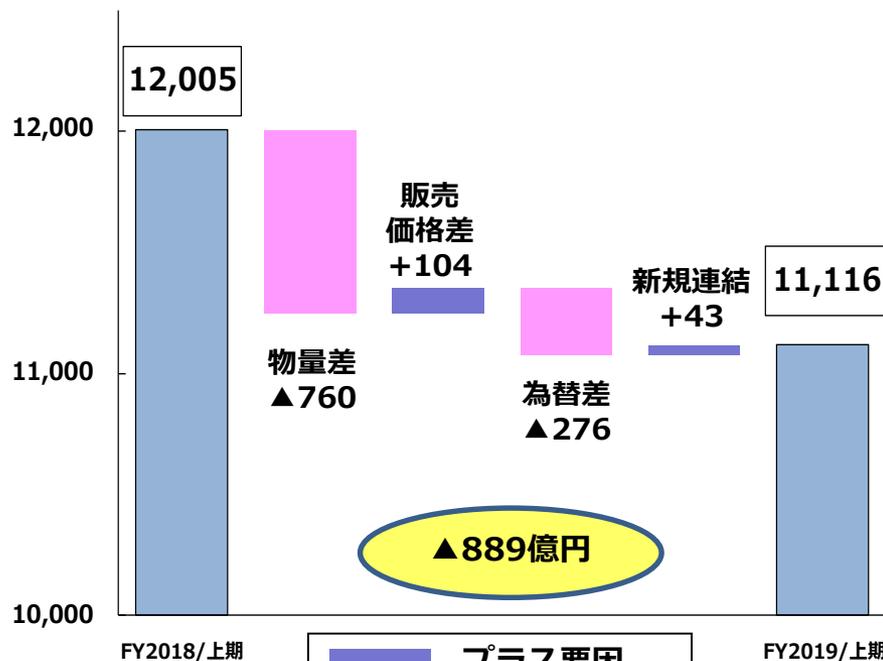
※ 為替影響を除くベースでプラスの地域

- ・売上高は、物量の減少および為替のマイナス影響により、前年同期比▲889億円の減収。
- ・セグメント利益は、物量減および地域構成の悪化等により、前年同期比▲541億円の減益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比▲3.6ポイント減の11.7%。

売上高

FY2018/上期 vs. FY2019/上期

(億円)



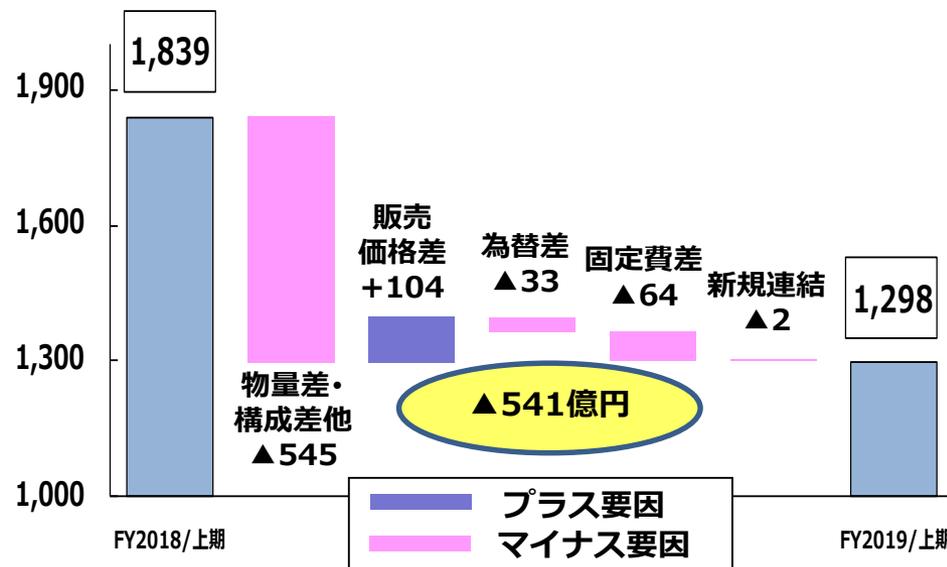
¥109.7/USD  
¥129.9/EUR  
¥16.8/RMB

¥109.0/USD  
¥121.6/EUR  
¥15.8/RMB

セグメント利益

FY2018/上期 vs. FY2019/上期

(億円)



15.3%

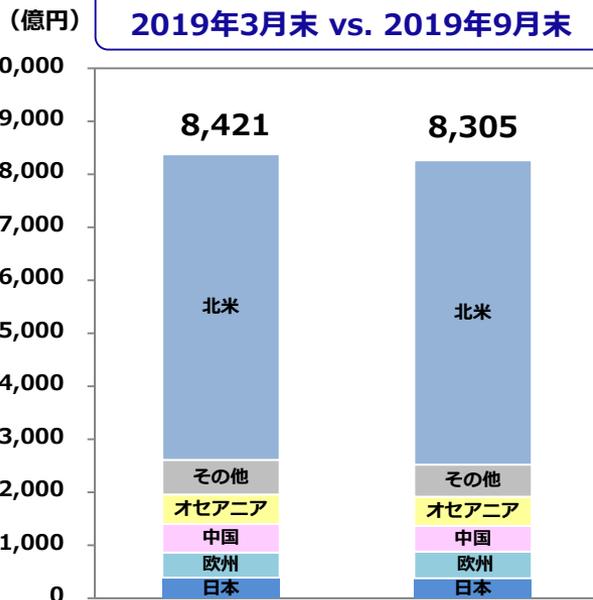
売上高セグメント利益率

11.7%

- ・資産は主に為替の影響により前年度末比減少。
- ・新規取組高は主に北米、オセアニアでの売上減等で、前年同期比減少。
- ・売上高は平均資産残高の増加等により、前年同期比増収。
- ・セグメント利益は前年同期の中国での債権回収に関する引当金戻し益がなくなったこともあり、前年同期比減益。

資産

2019年3月末 vs. 2019年9月末



2019年3月末

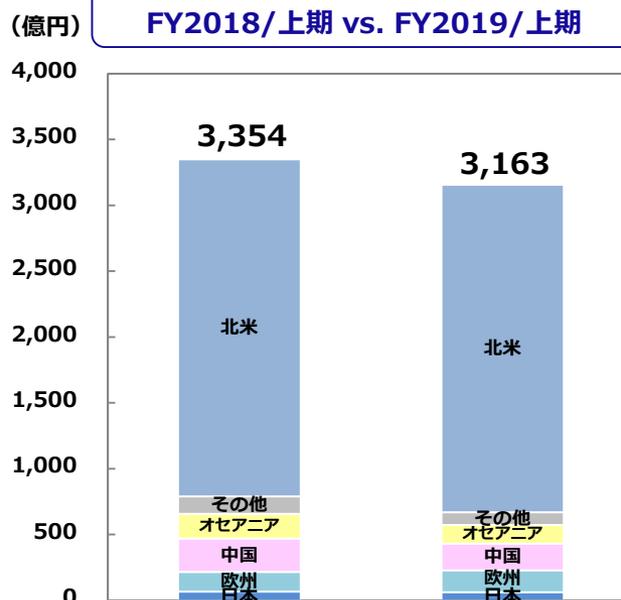
¥111.1/USD  
¥124.7/EUR  
¥ 16.6/RMB

2019年9月末

¥107.9/USD  
¥118.0/EUR  
¥15.1/RMB

新規取組高

FY2018/上期 vs. FY2019/上期



FY2018/上期

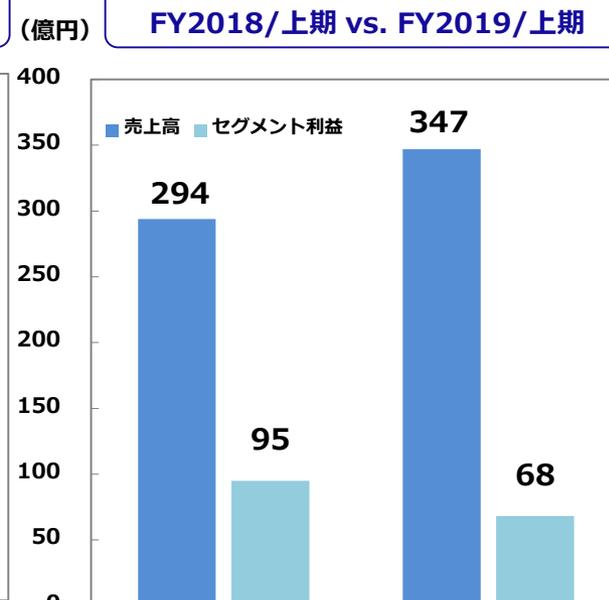
¥109.7/USD  
¥129.9/EUR  
¥16.8/RMB

FY2019/上期

¥109.0/USD  
¥121.6/EUR  
¥15.8/RMB

収益

FY2018/上期 vs. FY2019/上期



FY2018/上期

¥109.7/USD  
¥129.9/EUR  
¥16.8/RMB

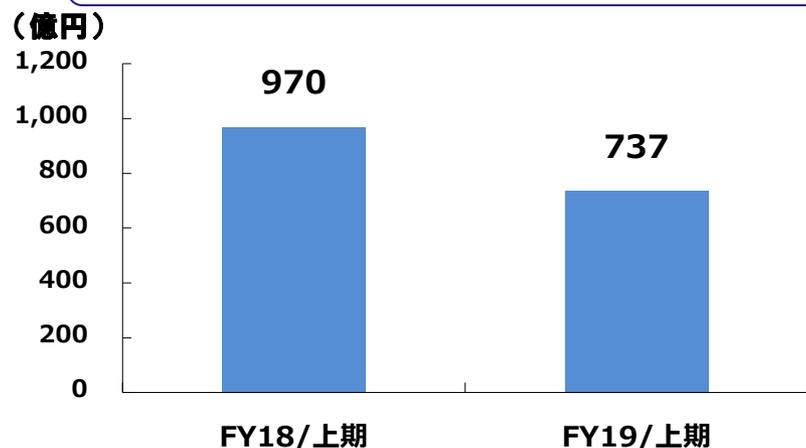
FY2019/上期

¥109.0/USD  
¥121.6/EUR  
¥15.8/RMB

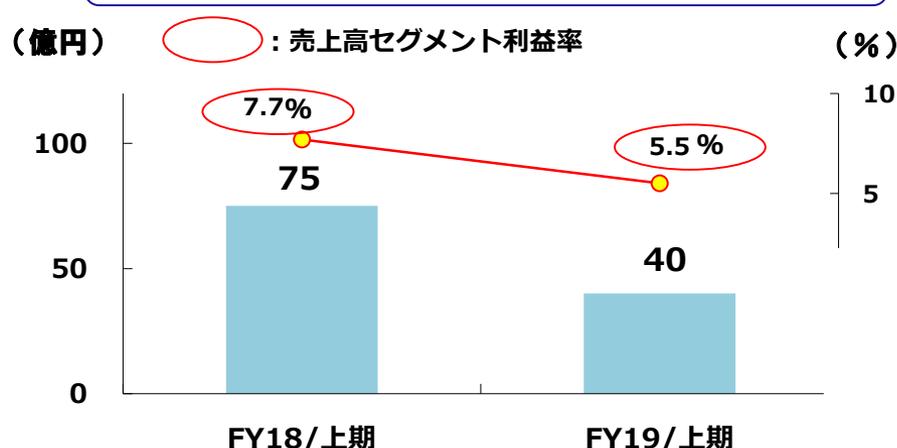
金額単位：億円	2019/3E	2019/9E	2019/3E比
借入金	6,380	6,392	+12
ネットベースの借入金	6,340	6,368	+28
ネットD/Eレシオ	3.64	3.82	+0.18ポイント

- ・売上高は自動車業界向けの鍛圧機械及び工作機械の販売減少に加え、半導体市場向けエキシマレーザー関連製品の販売減少により前年同期比▲24.0%減収の737億円。
- ・売上高セグメント利益率は5.5%。

売上高  
FY2018/上期 vs. FY2019/上期



セグメント利益  
FY2018/上期 vs. FY2019/上期



売上高の内訳

(億円)	FY18/ 上期	FY19/ 上期	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	263	220	▲42	▲16.2%
コマツNTC	334	202	▲131	▲39.4%
ギガフォトン	200	174	▲25	▲12.8%
その他	172	138	▲33	▲19.3%
合計	970	737	▲233	▲24.0%

- ・総資産は棚卸資産、その他資産等で増加したものの、為替のマイナス影響により、前年度末比▲6億円減少の3兆6,375億円。
- ・株主資本比率は前年度末比▲0.7ポイント減の49.2%。

金額単位：億円 ：ネットD/Eレシオ	2019年3月末 ¥111.1/USD ¥124.7/EUR ¥16.6/RMB	2019年9月末 ¥107.9/USD ¥118.0/EUR ¥15.1/RMB	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	1,508	1,647	+139
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	12,585	11,606	▲ 978
棚卸資産	8,375	8,942	+566
有形固定資産	7,764	7,568	▲ 195
その他資産	6,148	※ 6,610	+462
<b>資産合計</b>	<b>36,382</b>	<b>36,375</b>	<b>▲ 6</b>
支払手形・買掛金	2,669	2,479	▲ 189
借入金・社債 [b]	9,307	9,513	+206
その他負債	5,377	※ 5,677	+301
<b>負債合計</b>	<b>17,353</b>	<b>17,671</b>	<b>+318</b>
（株主資本比率）	（49.9%）	（49.2%）	（▲0.7ポイント）
株主資本	18,155	17,879	▲ 276
非支配持分	872	824	▲ 48
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>36,382</b>	<b>36,375</b>	<b>▲ 6</b>
ネットベースの借入金・社債 [b-a]	0.43 7,798	0.44 7,866	+67
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	0.09	0.09	

※ 新会計基準適用によりオペレーティングリース使用权資産およびオペレーティングリース負債が前年度末比、約480億円増加。

## Ⅱ. 2019年度の見通し

- ・ 上期はアジア、中国を中心に売上高が想定を下回り、下期についても米中貿易摩擦などの外部環境が依然不透明であることから、需要は想定より弱含むことが予想される。また、下期為替の前提を見直し、売上高および利益を下記のとおり下方修正する。
- ・ 連結売上高：前年比▲9.3%減収の2兆4,720億円(期初見通しから▲1,450億円下方修正)。
- ・ 営業利益：前年比▲29.9%減益の2,790億円(期初見通しから▲580億円下方修正)。
- ・ 1株当たり年間配当金は2019年度見通し(期初)の110円を据え置き。

※下期為替の前提を1ドル：100円、1ユーロ：111円、1中国元：14.0円に見直す。

金額単位：億円	2018年度 (A) ¥110.6/USD ¥128.5/EUR ¥16.5/RMB	2019年度 見通し(最新) ※ (B) ¥104.5/USD ¥116.3/EUR ¥14.9/RMB	2019年度 見通し(期初) (C) ¥105.0/USD ¥119.0/EUR ¥15.6/RMB	前年比(B-A)	
				増減	増減率
連結売上高	27,252	24,720	26,170	▲2,532	▲9.3%
セグメント利益	3,993	2,780	3,420	▲1,213	▲30.4%
その他の営業収益(▲費用)	▲15	10	▲51	+25	-
営業利益	3,978	2,790	3,370	▲1,188	▲29.9%
売上高営業利益率	14.6%	11.3%	12.9%	▲3.3ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲203	▲220	▲200	▲16	-
税引前純利益	3,774	2,570	3,170	▲1,204	▲31.9%
当社株主に帰属する当期純利益	2,564	1,800	2,150	▲764	▲29.8%
ROE	14.7%	10.2%	11.8%	▲4.5ポイント	
1株当たり配当金(円)	110円	110円	110円	±0円	
連結配当性向	40.5%	57.7%	48.3%		

- ・建設機械・車両の売上高は、上期にアジア、中国を中心に売上高が期初想定を下回り、下期も需要は期初想定より弱含むことが予想される。また、下期為替の前提を見直し、売上高、利益を下方修正する。  
売上高は期初見通しから▲1,290億円下方修正し、2兆2,330億円に、セグメント利益も▲580億円下方修正し、2,530億円と見込む。
- ・リテールファイナンスの売上高は、期初見通しから▲10億円下方修正。セグメント利益は据え置き。
- ・産業機械他の売上高は、期初見通しから▲180億円下方修正、セグメント利益も▲60億円下方修正。

□ : 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2018年度		2019年度見通し(最新)		2019年度見通し(期初)		前年比(B-A)	
	(A)		(B)		(C)		増減	増減率
売上高	27,252		24,720		26,170		▲2,532	▲9.3%
建設機械・車両	(24,666)	24,789	(22,240)	22,330	(23,500)	23,620	(▲2,426) ▲2,459	(▲9.8%) ▲9.9%
リテールファイナンス	(573)	635	(610)	690	(620)	700	(+37) +54	(+6.5%) +8.5%
産業機械他	(2,012)	2,032	(1,870)	1,890	(2,050)	2,070	(▲142) ▲142	(▲7.1%) ▲7.0%
消去	▲205		▲190		▲220		+15	-
セグメント利益	□14.7%	3,993	□11.2%	2,780	□13.1%	3,420	▲1,213	▲30.4%
建設機械・車両	□14.7%	3,653	□11.3%	2,530	□13.2%	3,110	▲1,123	▲30.8%
リテールファイナンス	□27.5%	175	□18.8%	130	□18.6%	130	▲45	▲25.8%
産業機械他	□9.2%	186	□7.9%	150	□10.1%	210	▲36	▲19.6%
消去または全社	▲20		▲30		▲30		▲10	-

各セグメントの状況：(最新見通しの対前年実績との比較)

■ 建設機械・車両

値上効果を一部見込むものの、物量の減少及び為替のマイナス影響により減収。

物量の減少、為替のマイナス影響に加え、地域構成の悪化、成長のための戦略投資の実行により減益。

■ リテールファイナンス

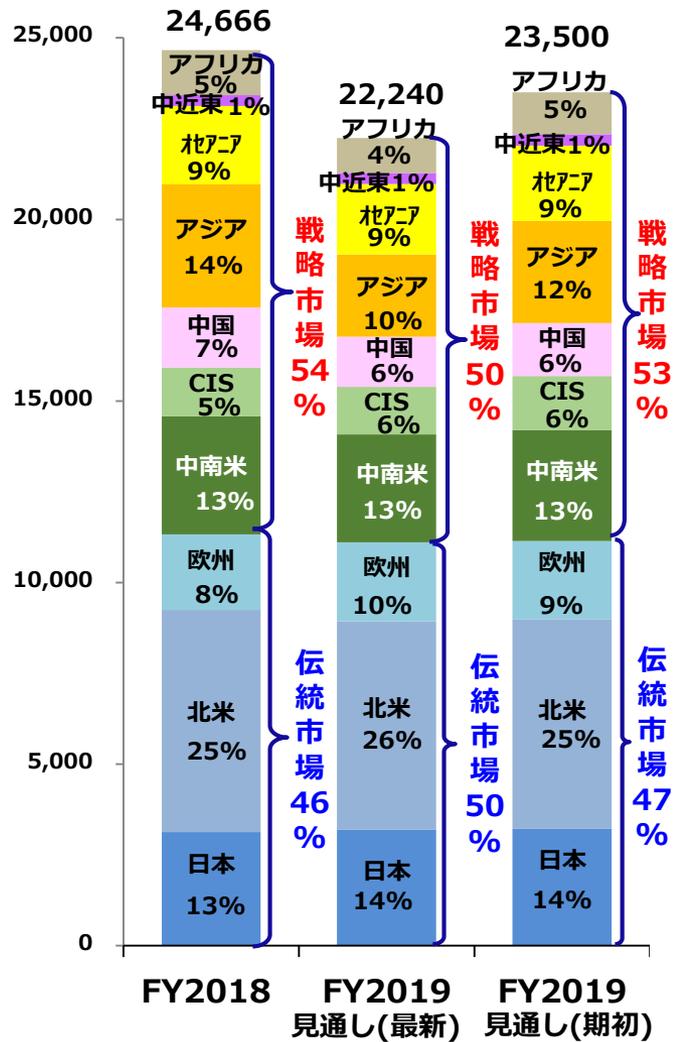
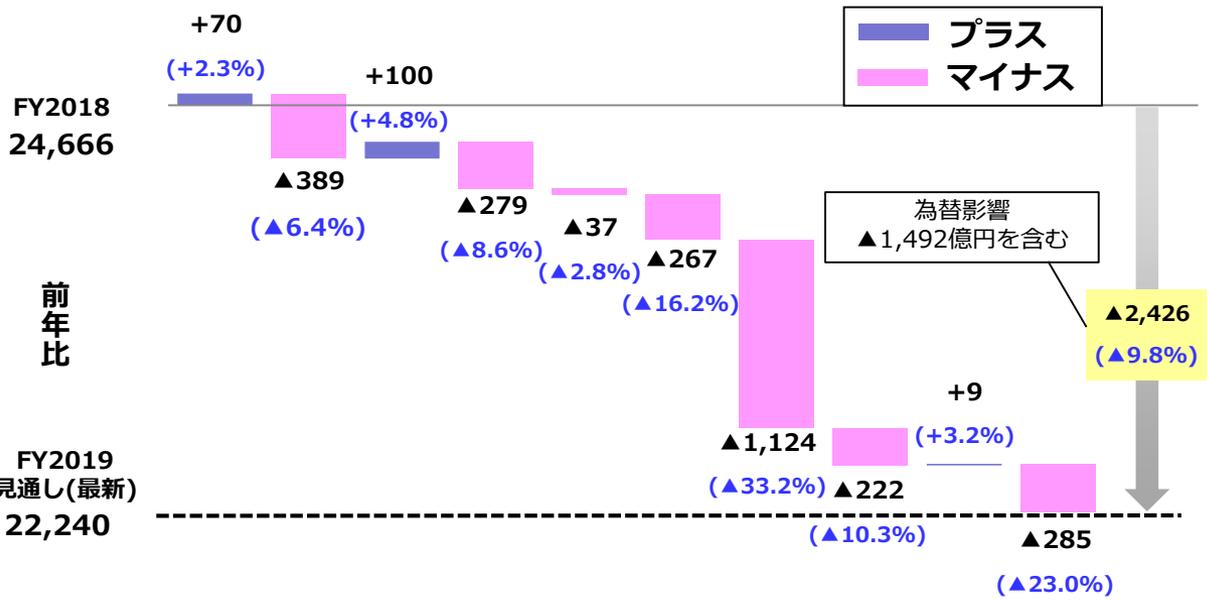
売上高は平均資産残高の増加により増収、前年度の中国での債権回収に関する引当金戻し益がなくなったこともあり減益。

■ 産業機械他

自動車業界向け鍛圧機械及び工作機械の販売減に加え、半導体市場向けエキシマレーザー関連製品の販売減に伴い減収減益。

- ・外部顧客向け売上高は前年比▲9.8%減収の2兆2,240億円。
- ・欧州、日本等で売上高が増加する一方、アジア、北米、アフリカでの減少が大きく、売上高は減少となる見通し。

(金額単位：億円)



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
FY2018	3,127	6,122	2,075	3,256	1,346	1,648	3,390	2,156	302	1,241	24,666
FY2019 見通し(最新)	3,198	5,733	2,176	2,976	1,308	1,380	2,266	1,933	312	955	22,240
増減	+70	▲389	+100	▲279	▲37	▲267	▲1,124	▲222	+9	▲285	▲2,426

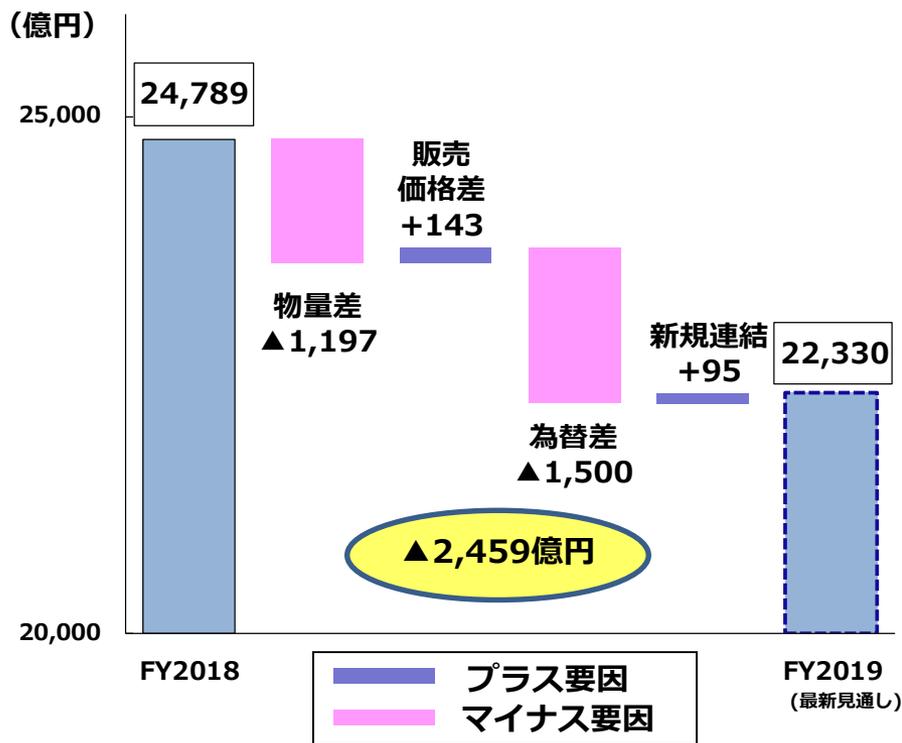
※ 為替影響を除くベースでプラスの地域

伝統市場 (日本, 北米, 欧州, 中南米, CIS)

戦略市場 (中国, アジア, オセアニア, 中近東, アフリカ)

- ・ 2019年度の売上高は、物量の減少および為替のマイナス影響により、前年比▲2,459億円減収の見通し。
- ・ セグメント利益は、物量減および為替・地域構成差等のマイナス影響により、前年比▲1,123億円減益の見通し。
- ・ 売上高セグメント利益率は前年比▲3.4ポイント減の11.3%。

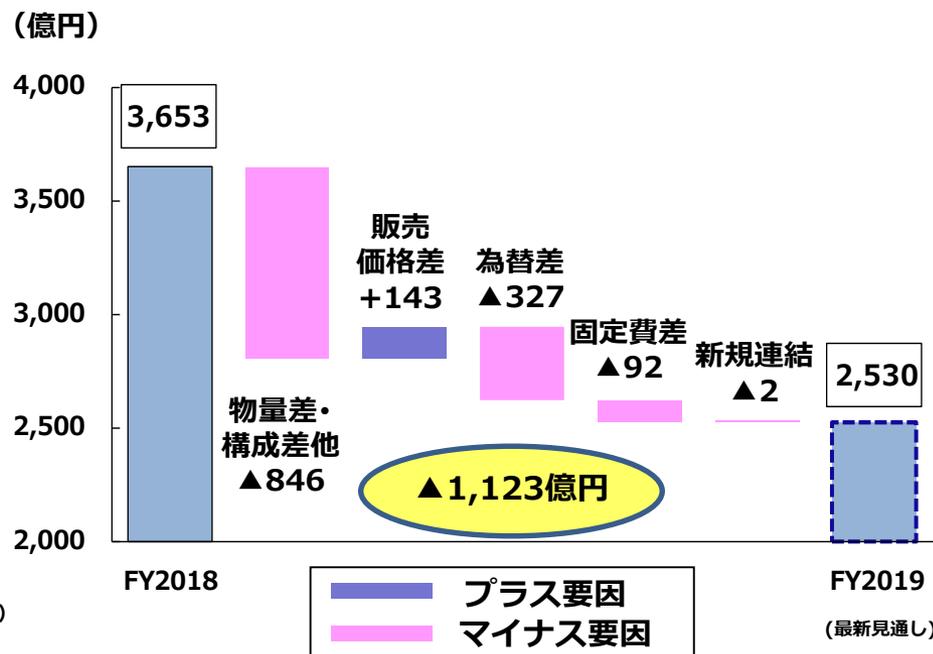
売上高  
FY2018 vs. FY2019(最新見通し)



¥110.6/USD  
¥128.5/EUR  
¥16.5/RMB

¥104.5/USD  
¥116.3/EUR  
¥14.9/RMB

セグメント利益  
FY2018 vs. FY2019(最新見通し)



14.7%

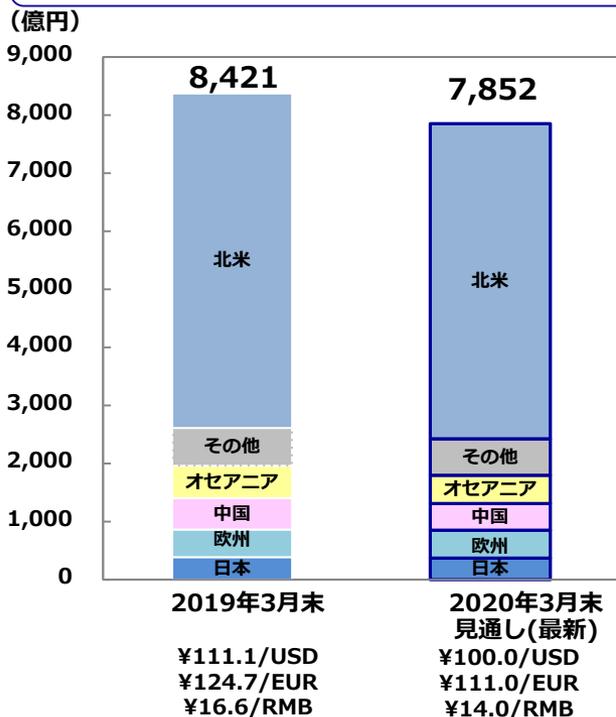
売上高セグメント利益率

11.3%

- ・資産は主に為替の円高影響により前年度末比で減少の見通し。
- ・新規取組高は為替の円高影響に加え、北米、オセアニア等の取組高が減り、前年比減少の見通し。
- ・売上高は平均資産残高の増加により増収の見通し。
- ・セグメント利益は前年度の中国での債権回収に関する引当金戻し益がなくなったこともあり、減益の見通し。

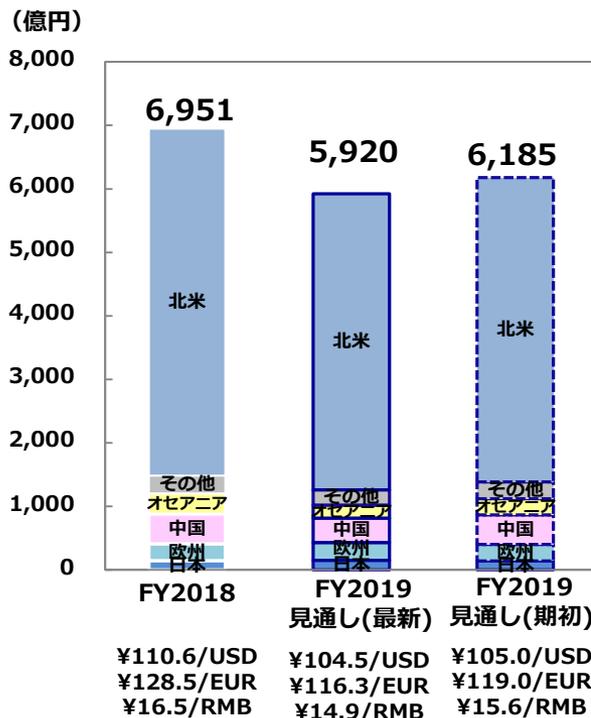
## 資産

2019年3月末 vs. 2020年3月末(最新見通し)



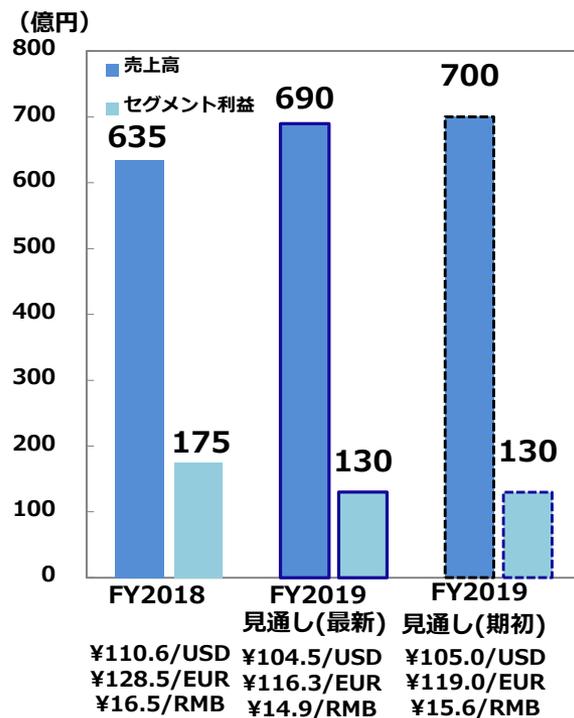
## 新規取組高

FY2018 vs. FY2019(最新見通し)



## 収益

FY2018 vs. FY2019(最新見通し)

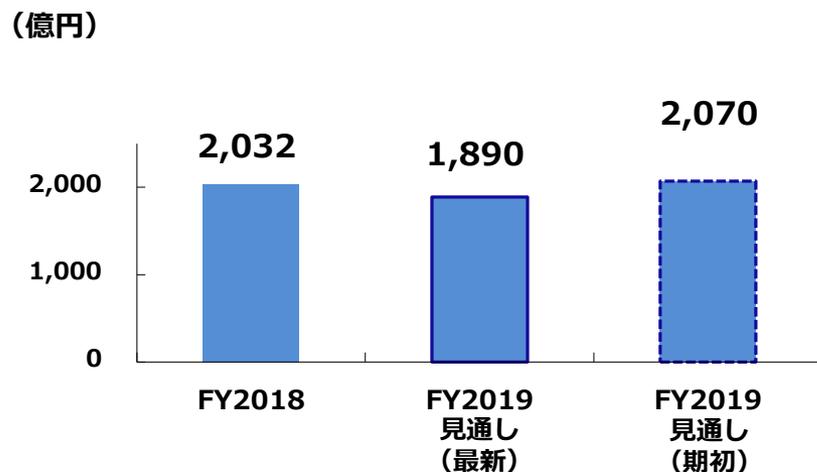


金額単位: 億円	2019/3E	2020/3E見通し(最新)	2019/3E比
借入金	6,380	6,077	▲303
ネットベースの借入金	6,340	6,032	▲308
ネットD/ELレシオ	3.64	3.88	+0.24ポイント

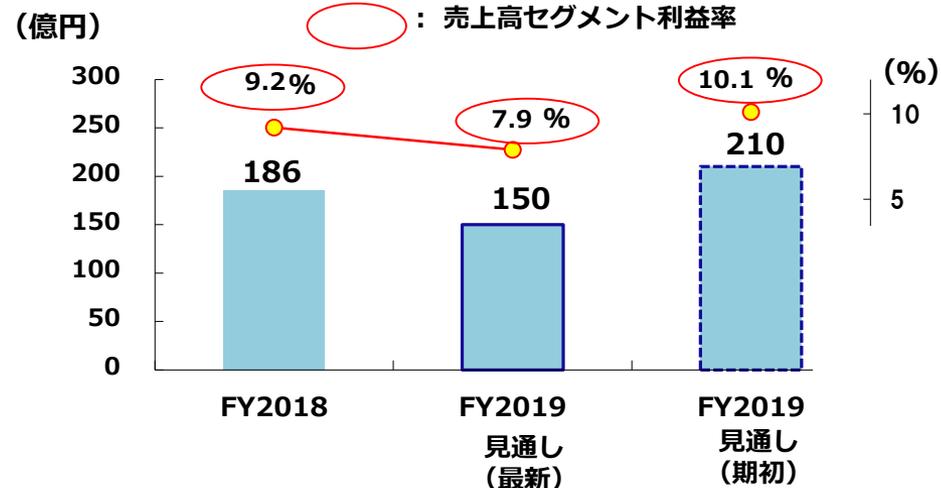
	FY2018 (A)	FY2019見通し(B) (最新)	FY2019見通し(期初)	前年比 (B-A)
ROA	2.2%	1.7%	1.6%	▲0.5%

・売上高は前年比▲7.0%減収の1,890億円、セグメント利益は前年比▲36億円減益の150億円となる見通し。

## 売上高



## セグメント利益

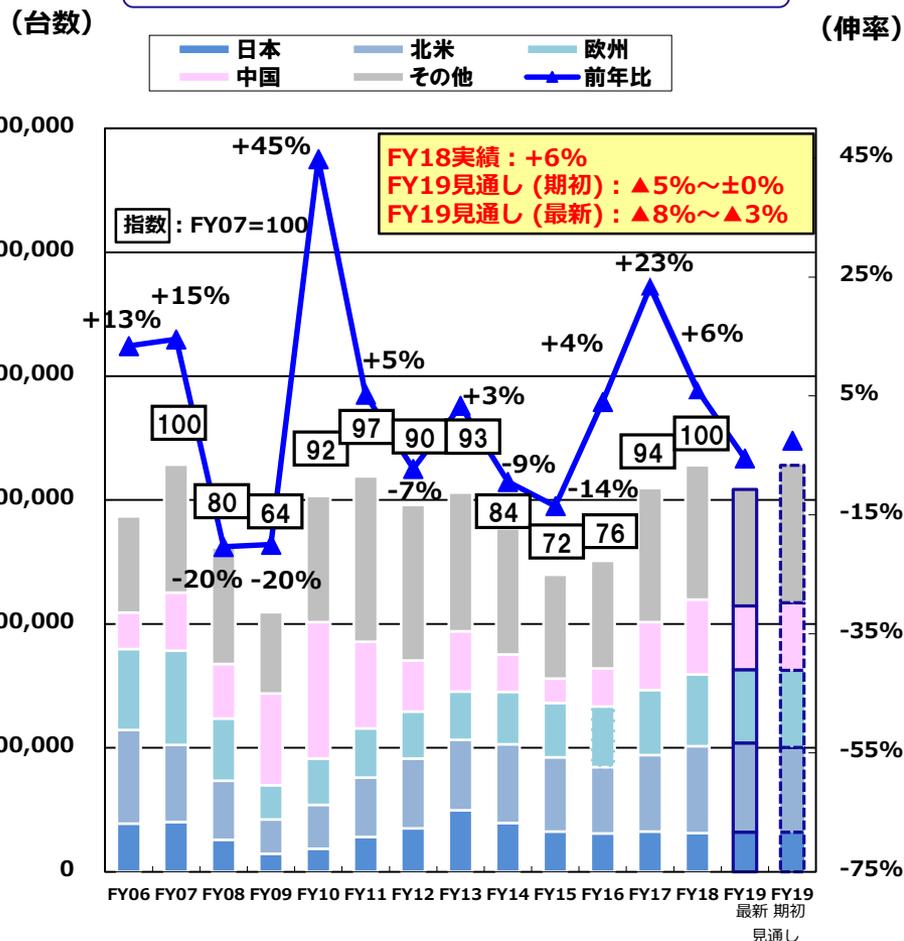


## 売上高の内訳

金額単位：億円	FY2018 (A)	FY2019 見通し(B) (最新)	FY2019 見通し (期初)	前年比(B-A)	
				増減	増減率
コマツ産機	574	601	631	+26	+4.7%
コマツNTC	679	510	596	▲168	▲24.9%
ギガフォトン	405	359	426	▲46	▲11.5%
その他	373	419	415	+46	+12.5%
合計	2,032	1,890	2,070	▲142	▲7.0%

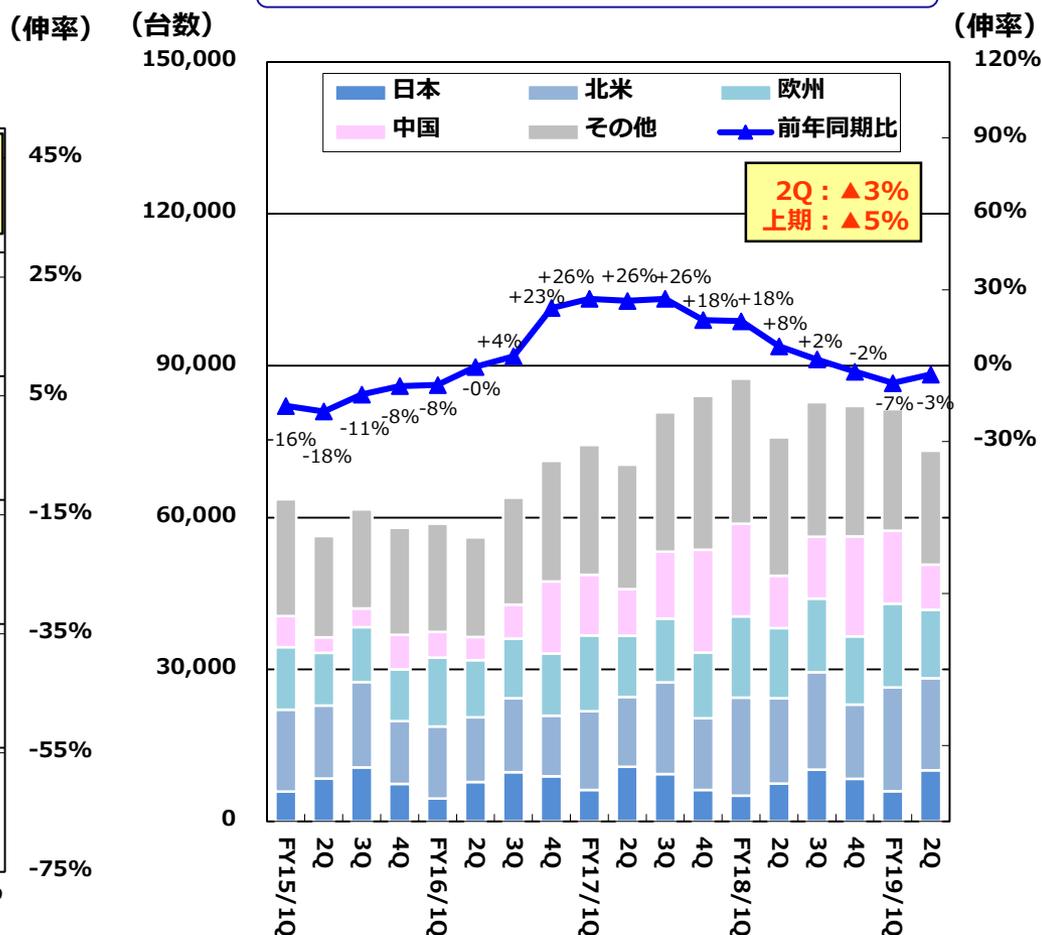
- ・ 2019年上期の需要は、前年同期比▲5%の減少。
- ・ 日本、北米等の需要は堅調な一方、他の主要地域での需要が減少。
- ・ 年間の需要見通しは▲8%～▲3%へ見直し。

### 主要7建機 年度別需要推移



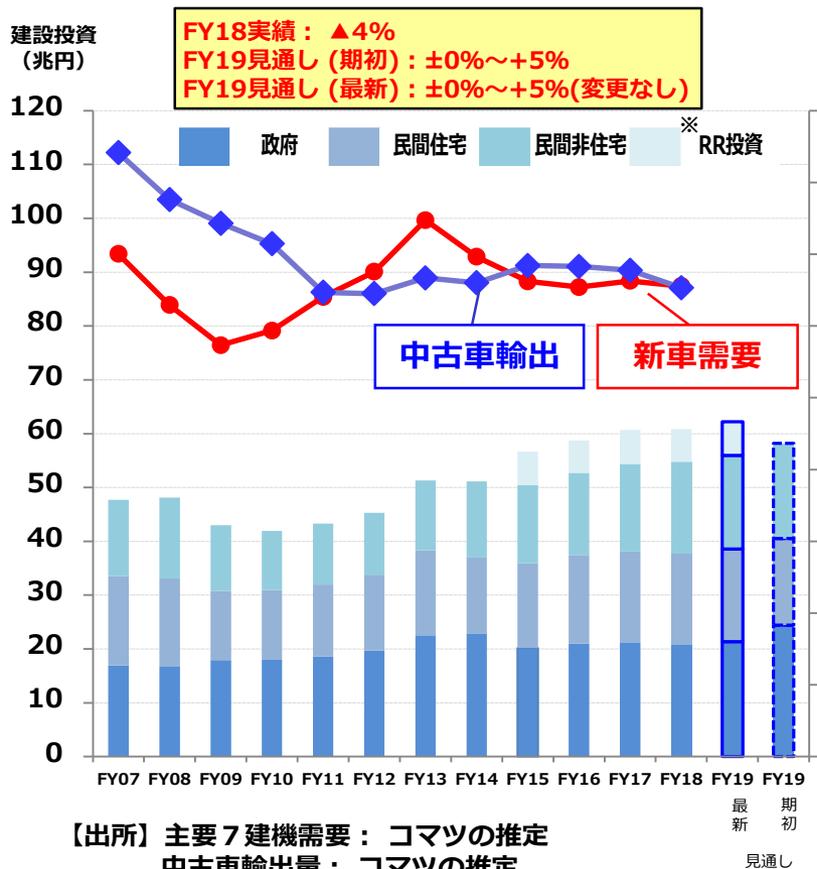
【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

### 主要7建機 四半期別需要推移



- ・ 2019年上期の需要は、前年同期比+28%の増加。
- ・ 2017年9月に施行された新排ガス規制に伴う駆け込み需要の反動減からの回復等により増加。
- ・ 年間の需要見通しは変更なし。

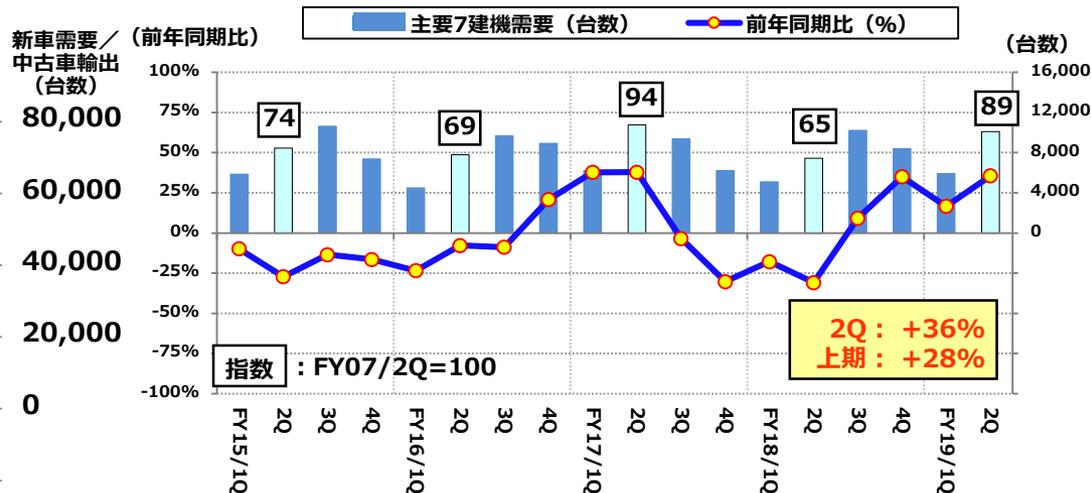
### 新車需要（主要7建機）と建設投資



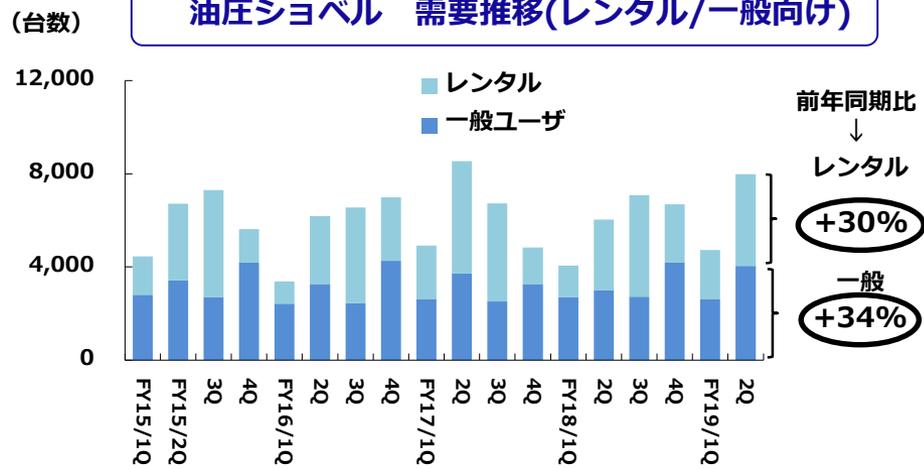
【出所】 主要7建機需要：コマツの推定  
 中古車輸出量：コマツの推定  
 建設投資：国土交通省／建設経済研究所

※ 2019年9月より建築物リフォーム・リニューアル投資 (RR投資) の集計が追加された、15年まで遡及表示。

### 主要7建機 四半期別需要推移

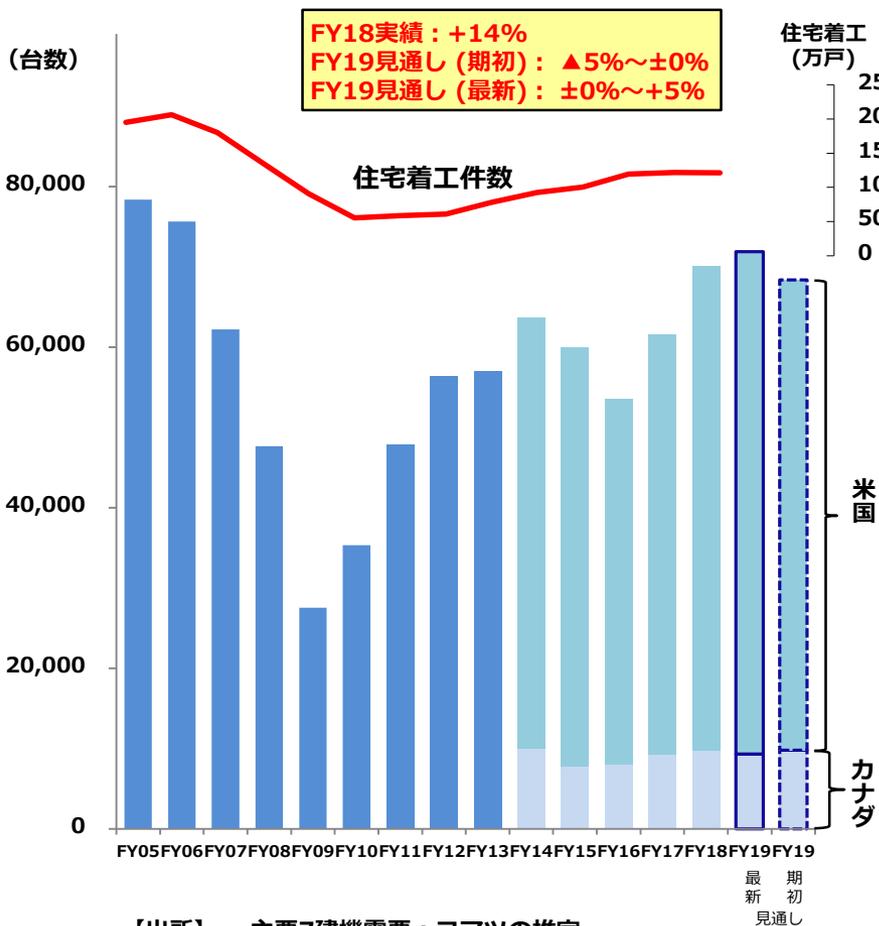


### 油圧ショベル 需要推移(レンタル/一般向け)

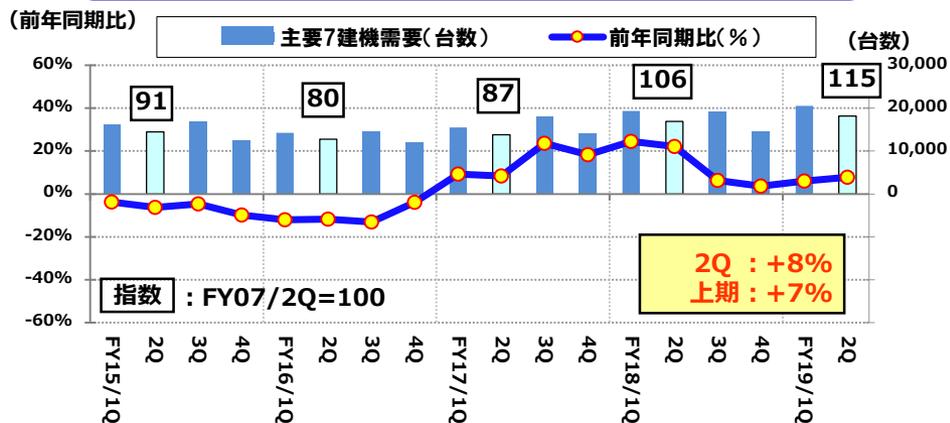


- ・ 2019年上期の需要は、前年同期比+7%の増加。
- ・ 一般建機は住宅向け等が好調に推移、また鉱山機械も需要は引き続き堅調であり、需要は10四半期連続の増加。
- ・ 年間の需要見通しは堅調な状況が続いていることから±0%～+5%へ見直し。

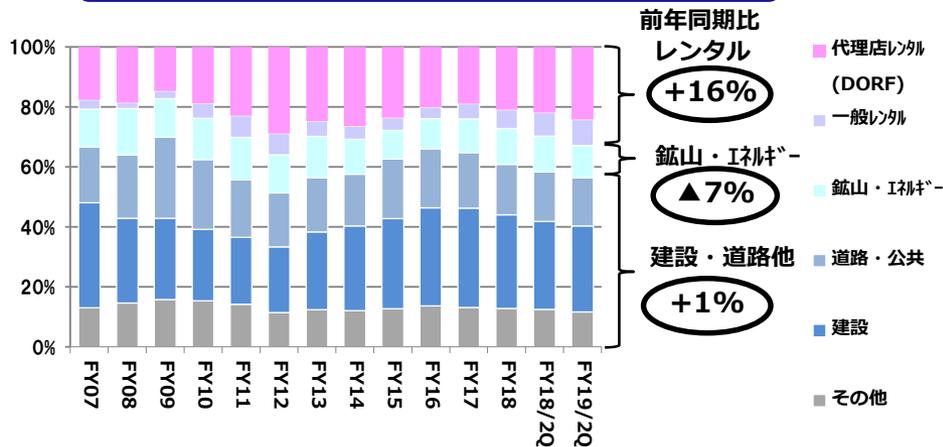
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



主要7建機 四半期需要推移

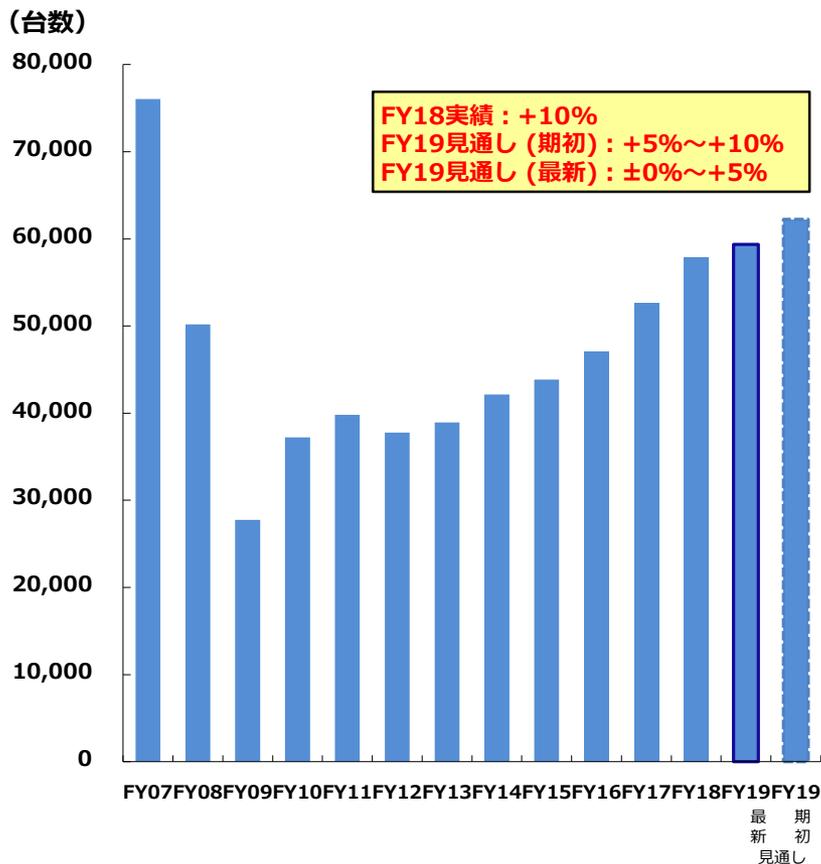


セグメント別需要構成比(台数ベース)



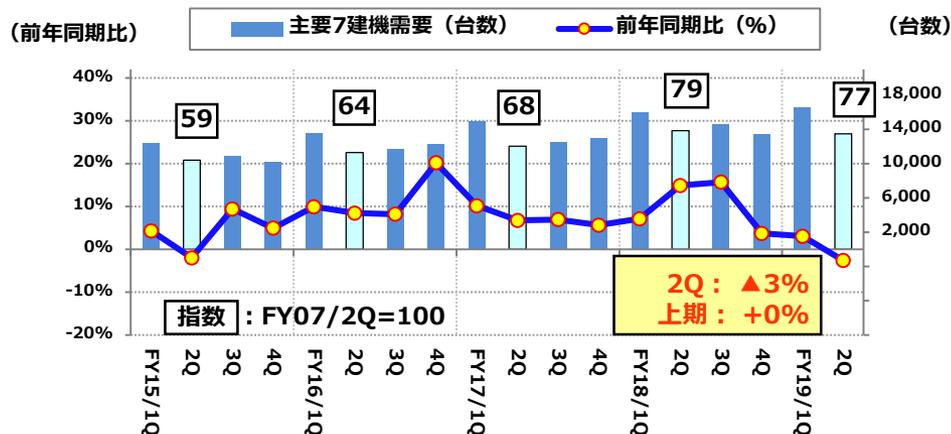
- ・2019年上期の需要は、前年同期比ほぼ横ばい。
- ・主要市場であるドイツ、フランスは底堅いものの、Brexitによる景気の不透明感等により、2Qの需要はマイナス。
- ・年間の需要見通しは足元の需要の状況から±0%～+5%へ見直し。

主要7建機 年度別需要推移

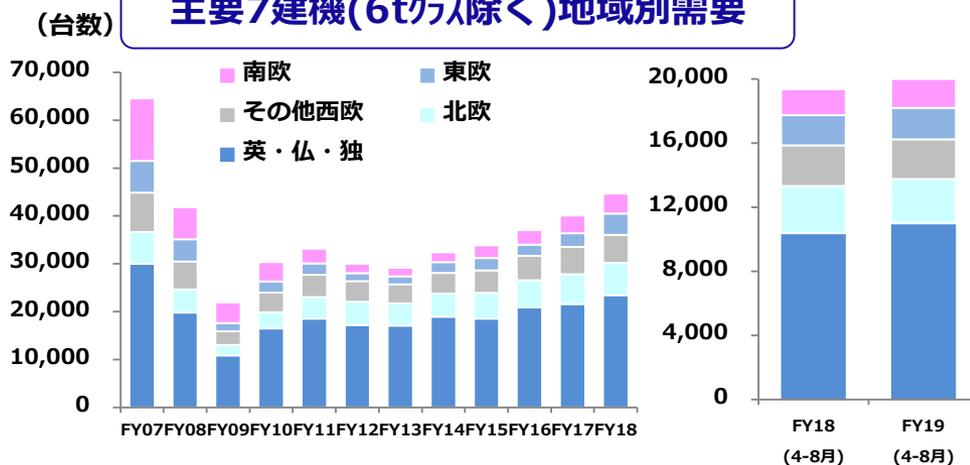


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移

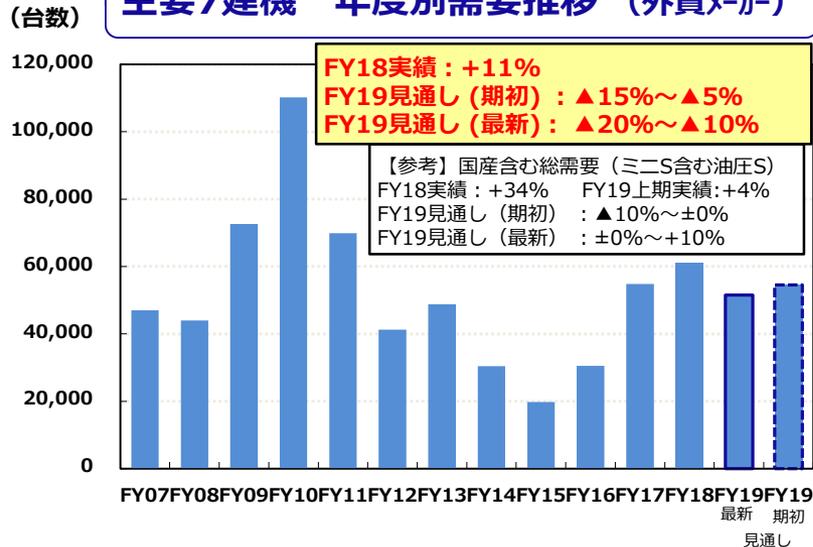


主要7建機(6クラス除く)地域別需要

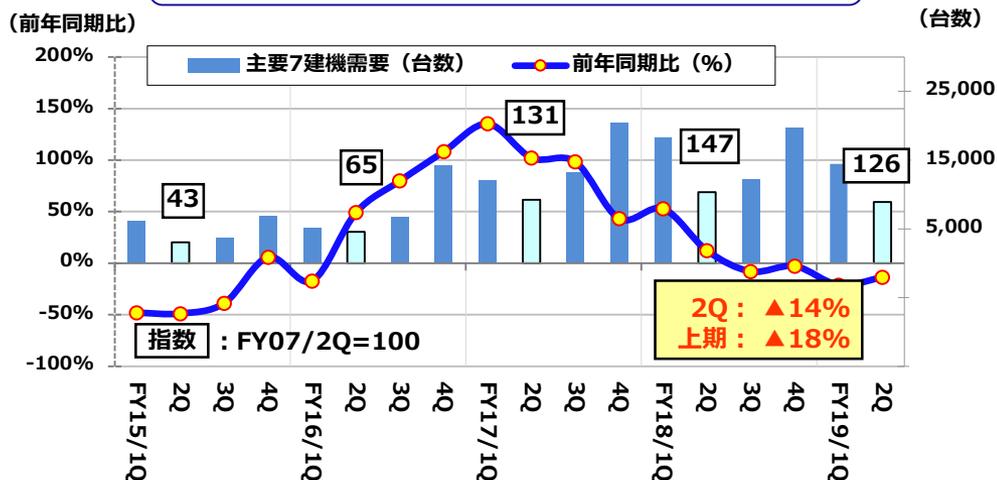


- ・ 2019年上期の需要は、前年同期比▲18%の減少。
- ・ 国産メーカー比率の伸長や、米中貿易摩擦の長期化による経済の不透明感が強まる中、一般建機需要が減少。
- ・ 年間の需要見通しは上期の需要が期初想定より下回ったため、▲20%～▲10%へ見直し。

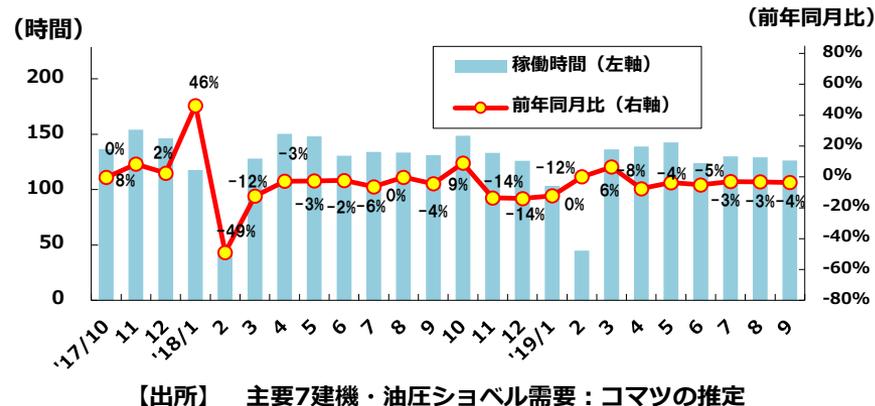
主要7建機 年度別需要推移 (外資メカ)



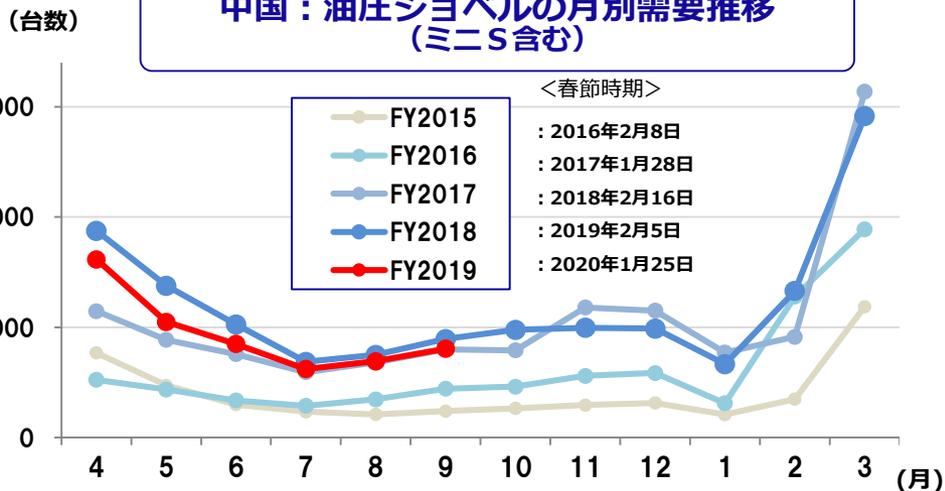
主要7建機 四半期需要推移 (外資メカ)



KOMTRAX(中国) 月平均稼働時間推移

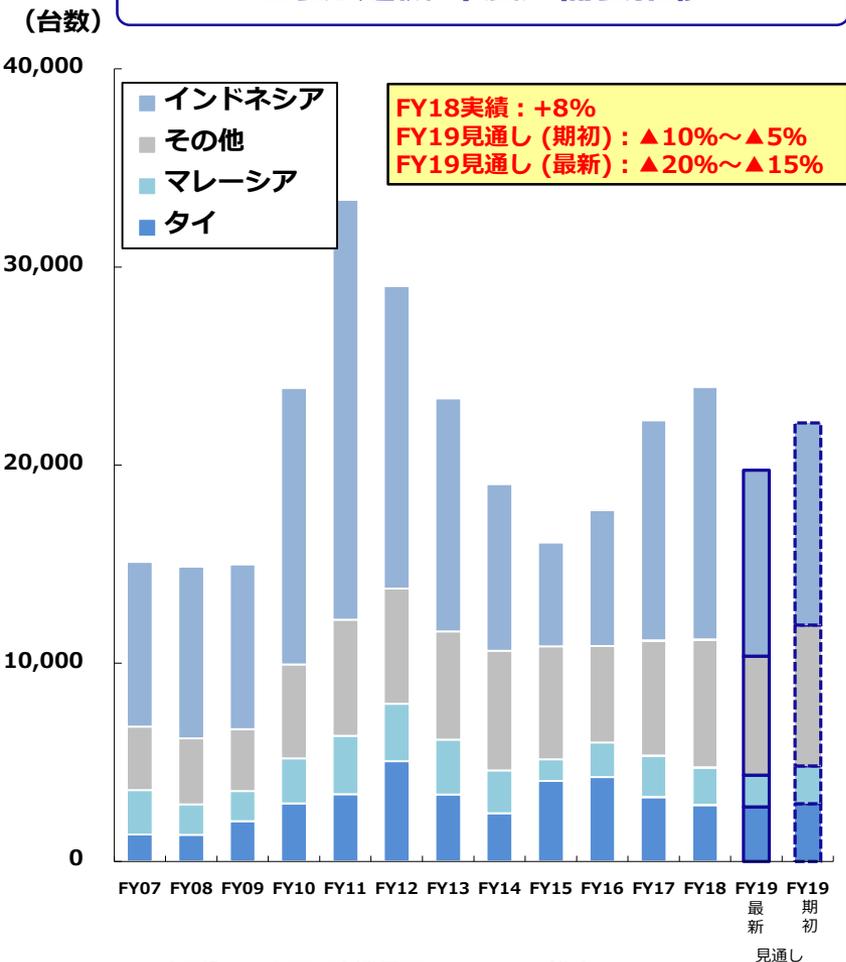


中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニS含む)

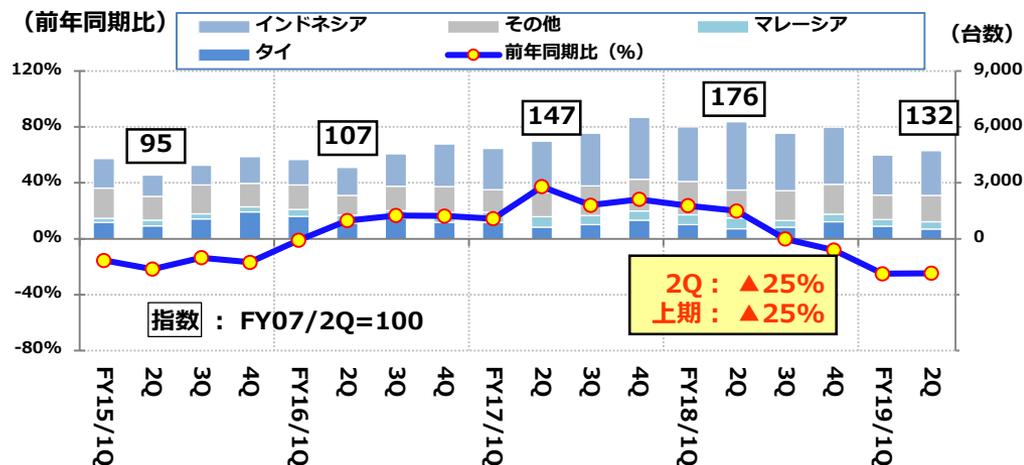


- ・ 2019年上期の需要は、前年同期比▲25%の減少。
- ・ 最大市場のインドネシアは大統領選挙、燃料炭の価格低迷により建設・鉱山機械需要が減少。
- ・ 年間の需要見通しはインドネシアの需要低迷が下期も続くと予想されることから、▲20%～▲15%へ見直し。

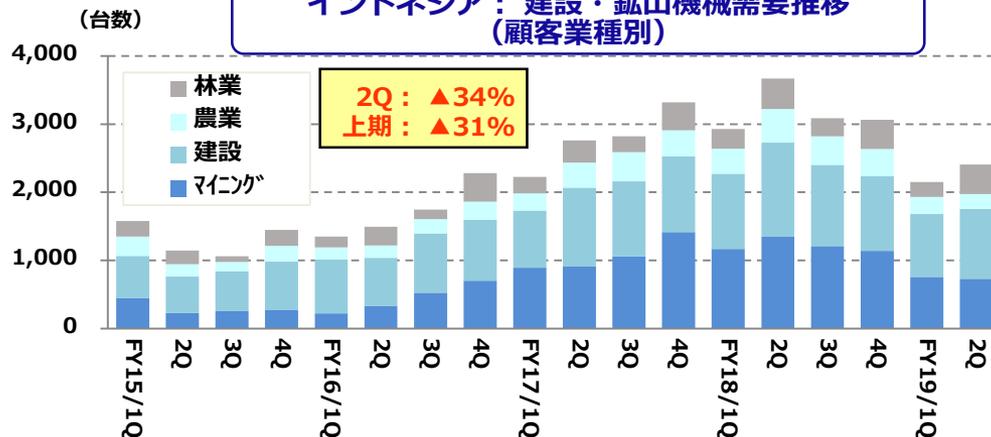
### 主要7建機 年度別需要推移



### 主要7建機 四半期需要推移



### インドネシア：建設・鉱山機械需要推移（顧客業種別）



- ・2019年上期の需要は、前年同期比▲13%の減少。
- ・インドネシア、CISは燃料炭価格の低迷等により需要が減少。
- ・年間の需要見通しは変更なし。

### 鉱山機械 年度別需要推移

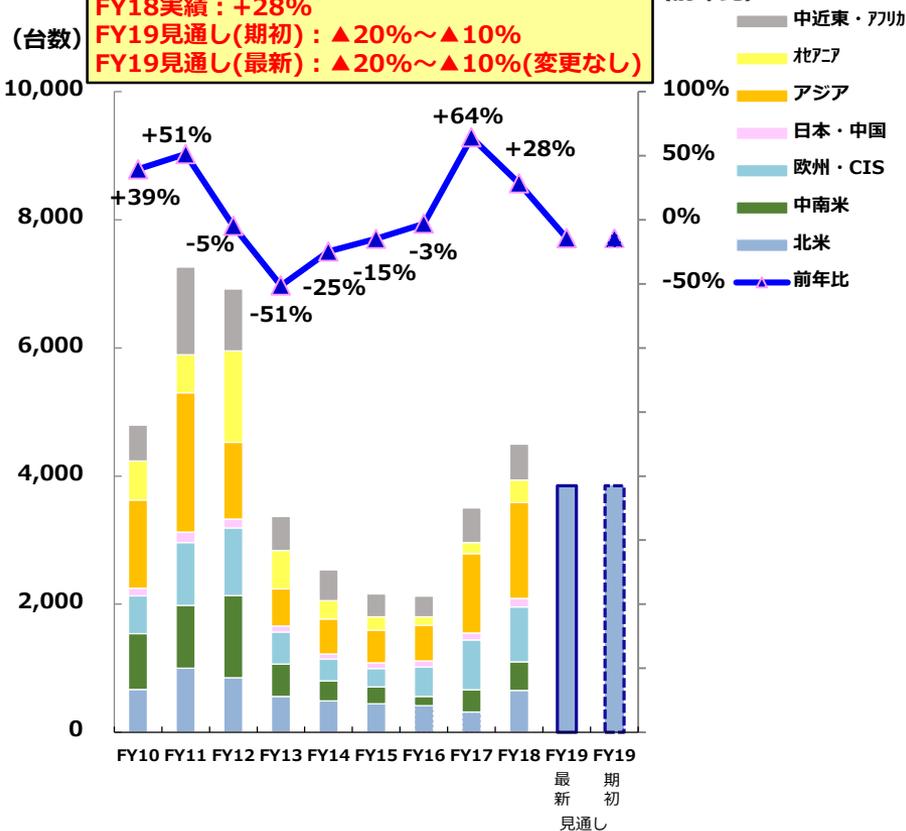
### 鉱山機械 四半期別需要推移

- ・ダンプトラック：75 t (HD785) 以上 ・アルトザー：525HP (D375) 以上
- ・エクスカベータ：200 t (PC2000) 以上 ・ホイールダ- (機械駆動)：810HP (WA800) 以上
- ・モータグレーダ-：280HP (GD825) 以上

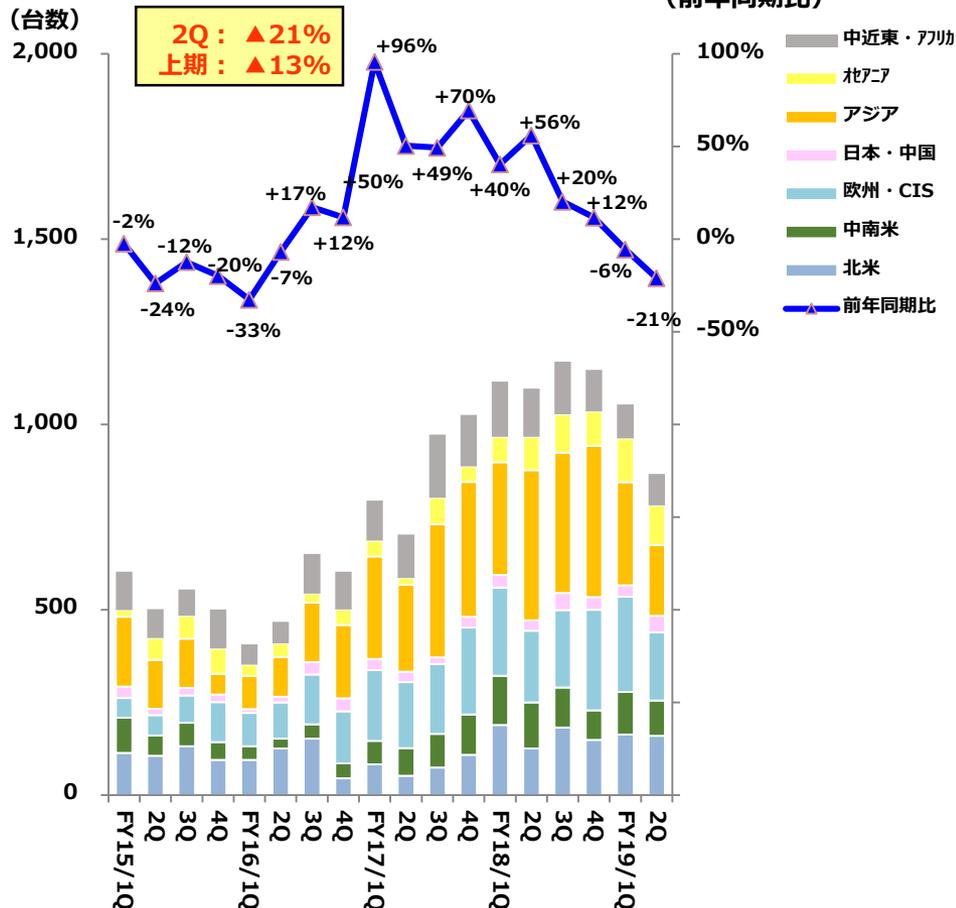
**FY18実績：+28%**  
**FY19見通し(期初)：▲20%~▲10%**  
**FY19見通し(最新)：▲20%~▲10%(変更なし)**

(前年比)

(台数)



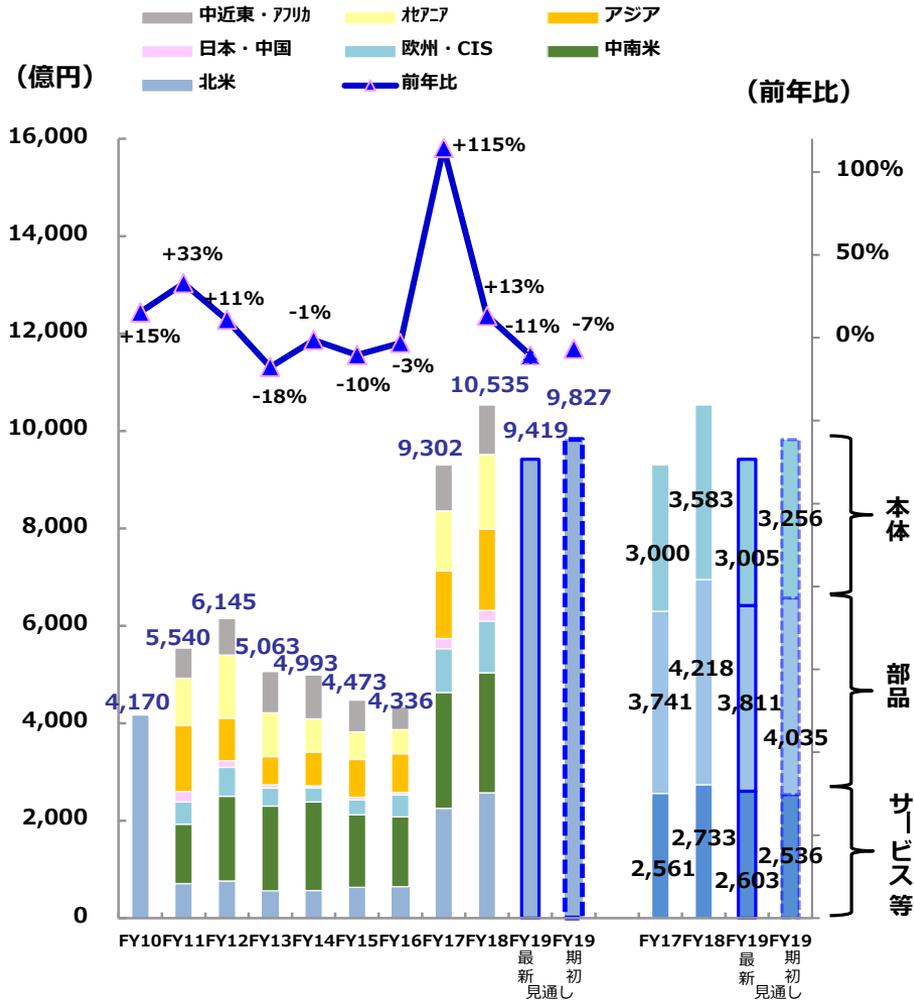
(前年同期比)



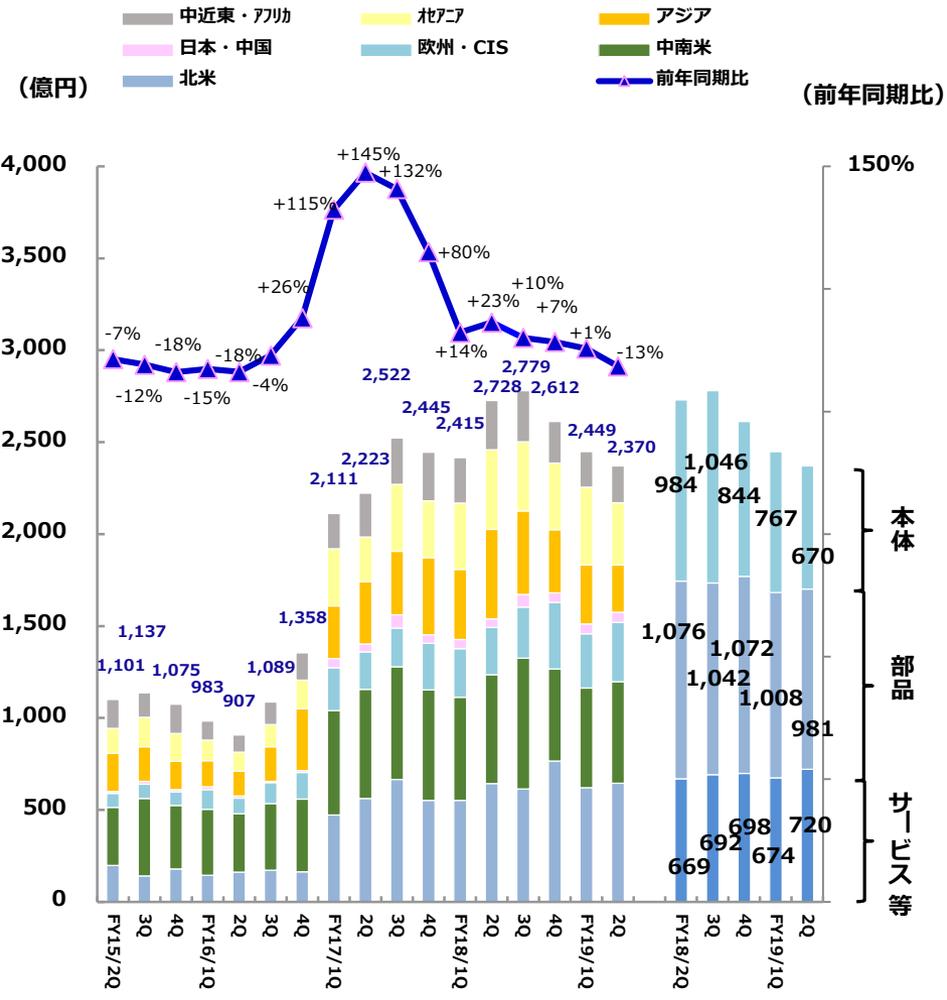
【出所】 コマツの推定

- ・ 2019年度第2四半期の売上高は、前年同期▲13%減少の2,370億円。
- ・ 主にアジア・アフリカで売上が減少。
- ・ 年間の見通しを前年比▲11%減少の9,419億円に下方修正。

鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス等含む)

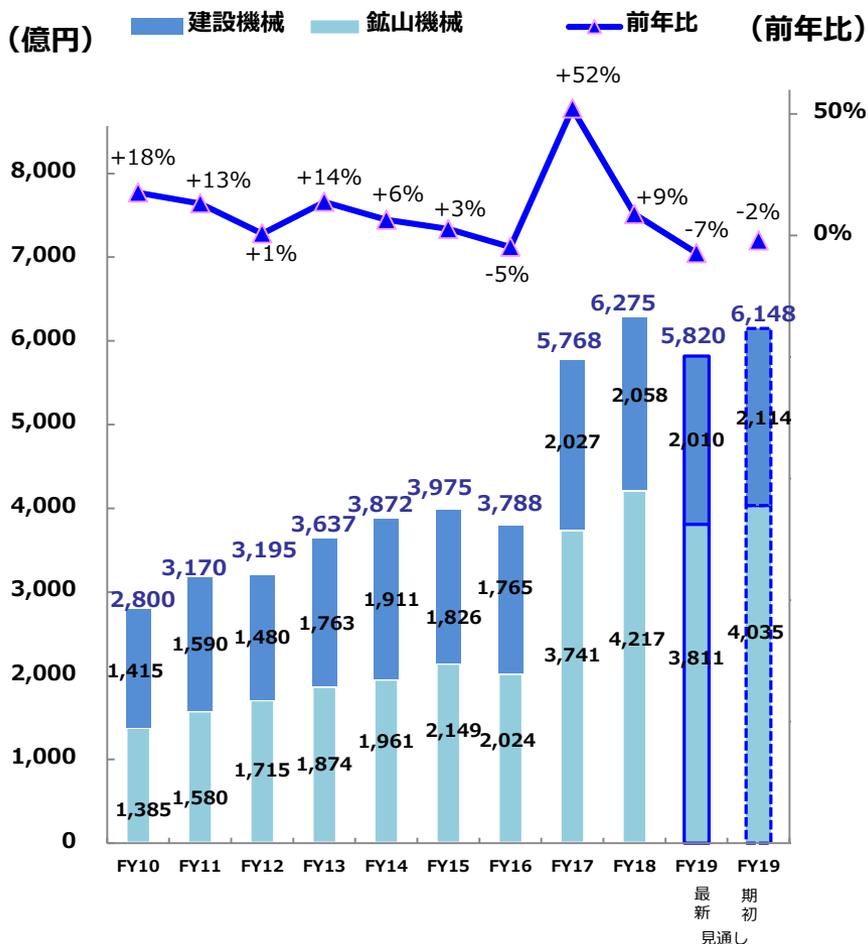


鉱山機械 四半期別売上高 (部品・サービス等含む)

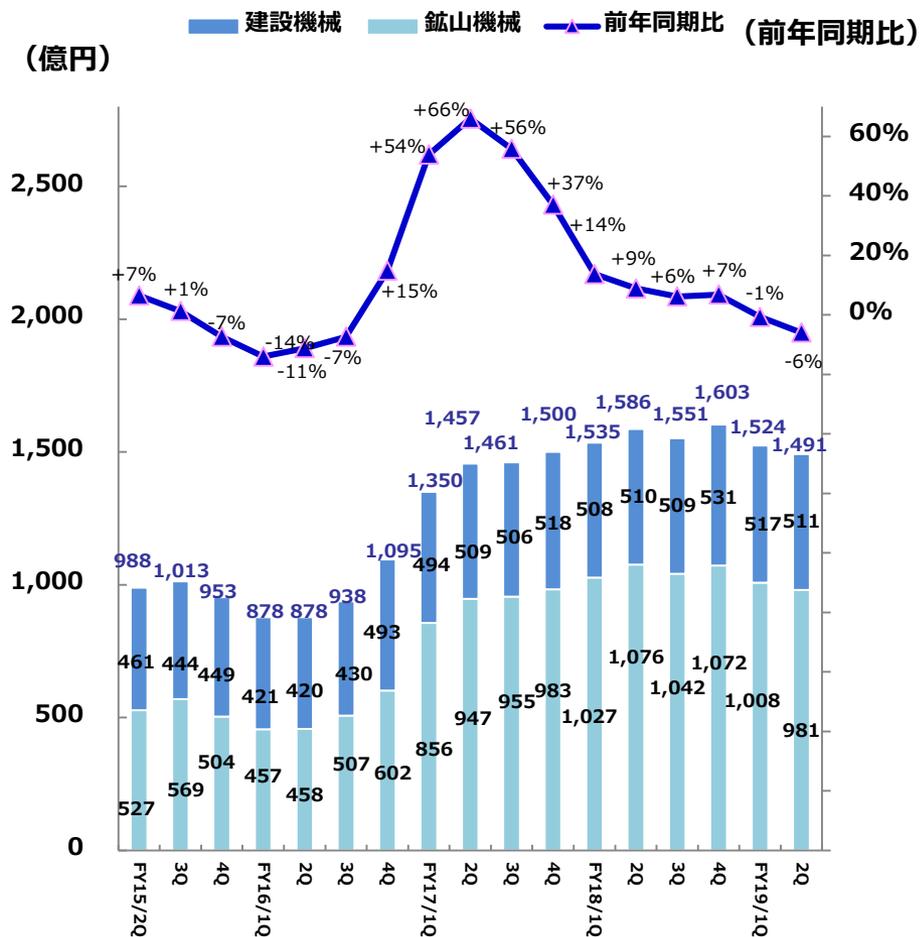


- ・2019年度第2四半期の部品売上高は、前年同期比▲6%減の1,491億円。
- ・年間の見通しを前年比▲7%減少の5,820億円に下方修正。

部品 年度別売上高



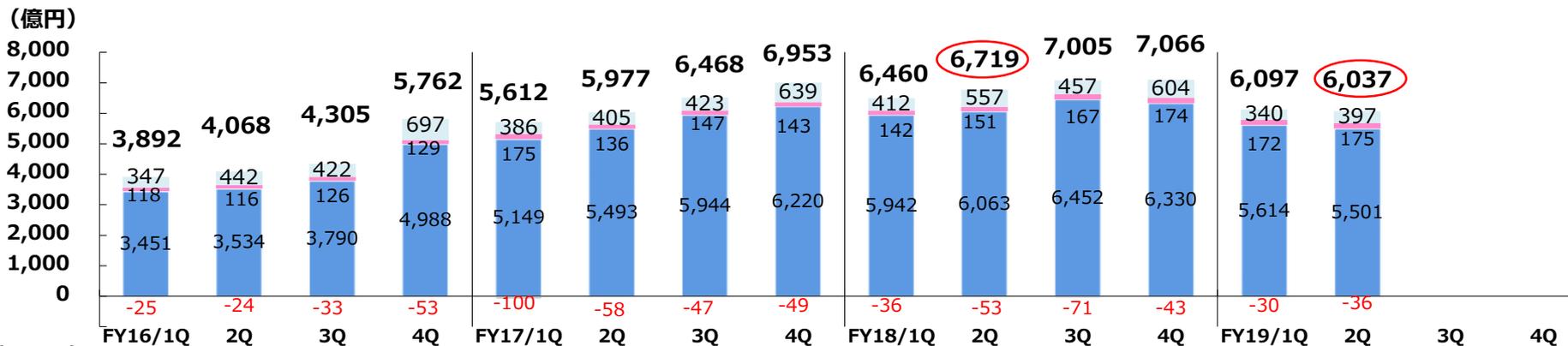
部品 四半期別売上高



**参考資料**

連結売上高 (FY16～)

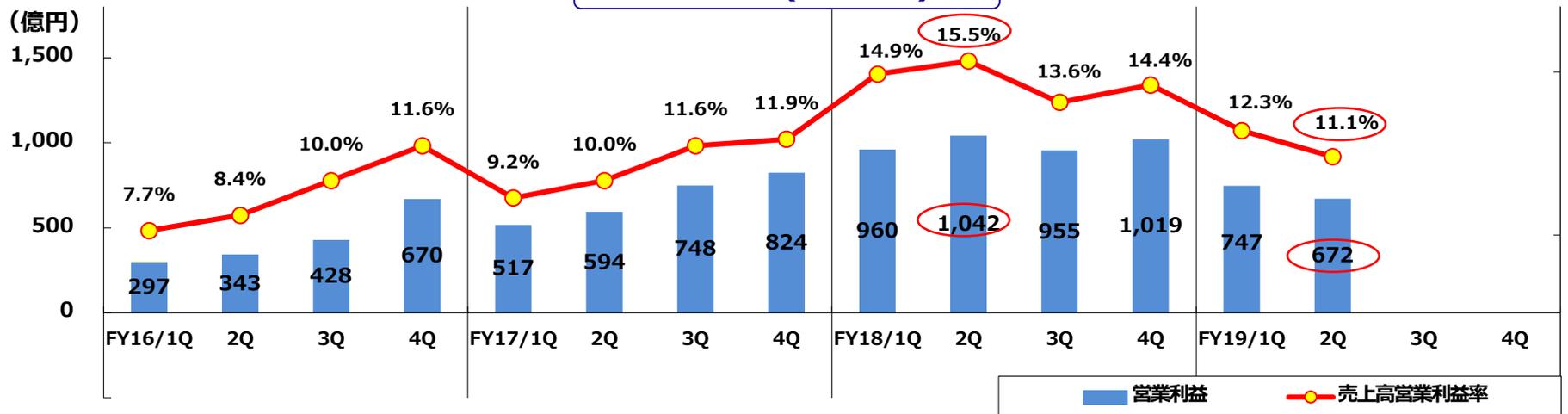
産業機械他 リテールファイナンス 建設機械・車両 消去



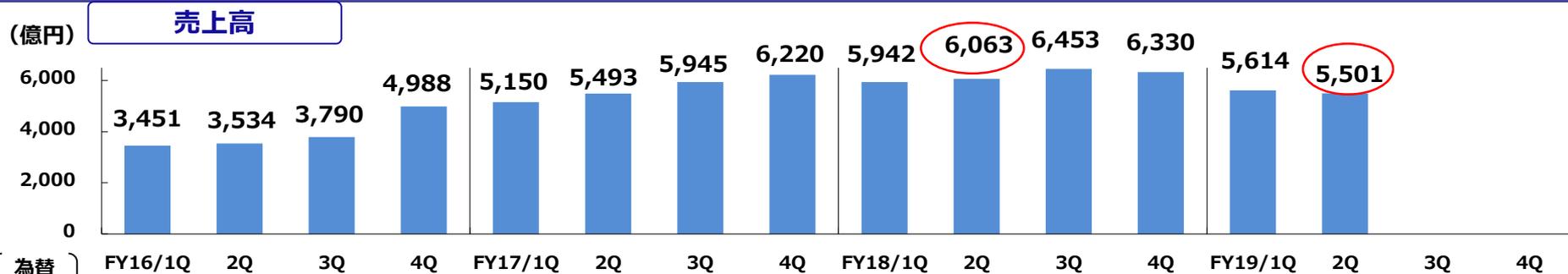
為替レート

	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q
¥/USD	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	109.6	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9		
¥/EUR	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	133.7	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0		
¥/RMB	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	17.2	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5		

営業利益 (FY16～)

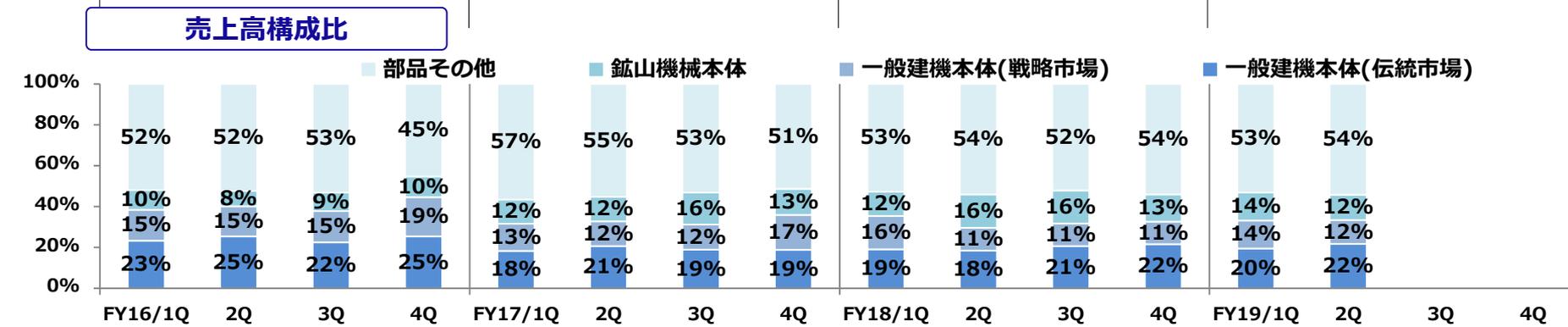
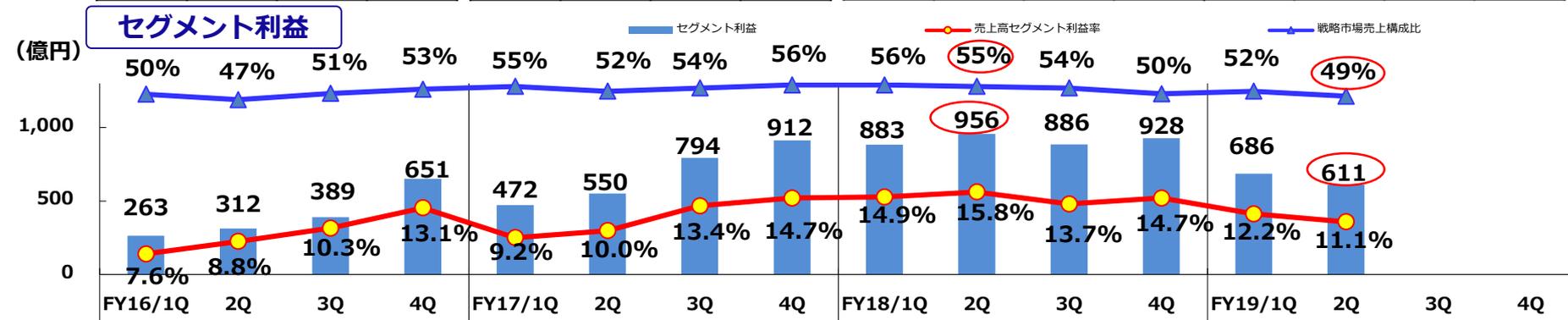


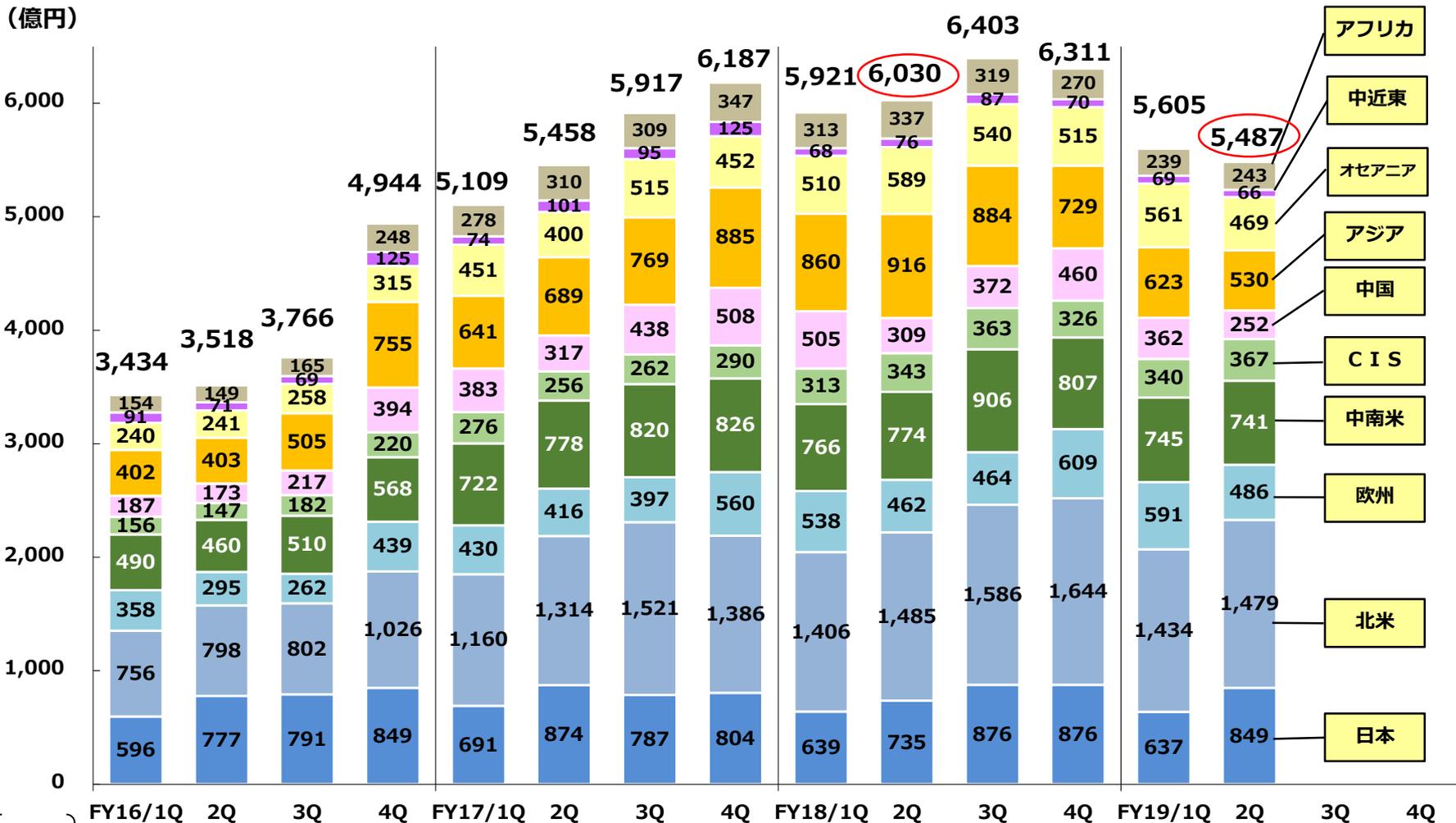
## <建設機械・車両> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



為替レート

	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q
¥/USD	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	109.6	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9		
¥/EUR	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	133.7	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0		
¥/RMB	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	17.2	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5		

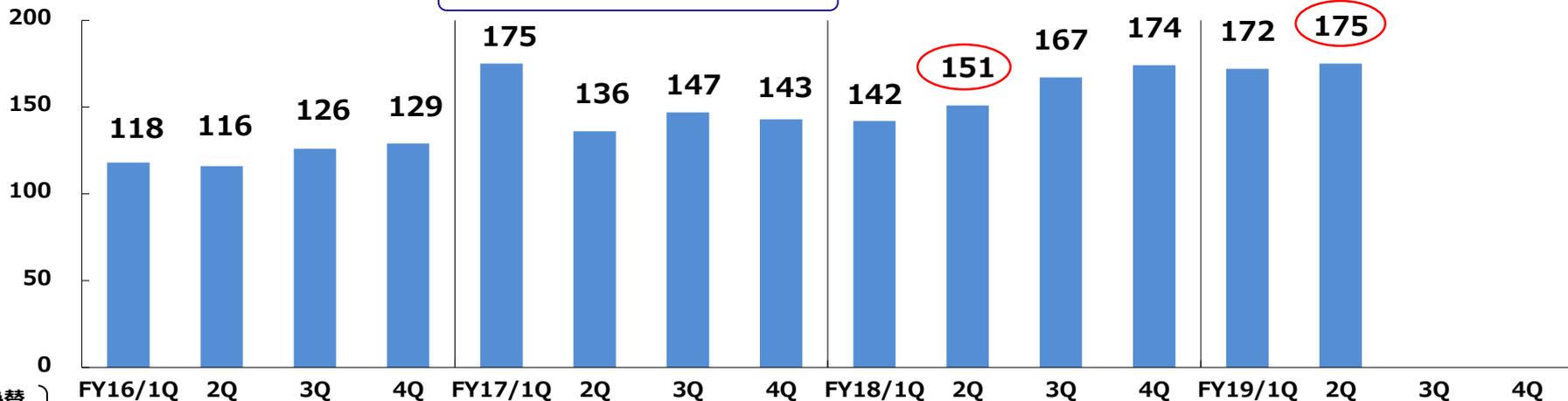




	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q
¥/USD	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	109.6	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9		
¥/EUR	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	133.7	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0		
¥/RMB	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	17.2	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5		

(億円)

### 売上高

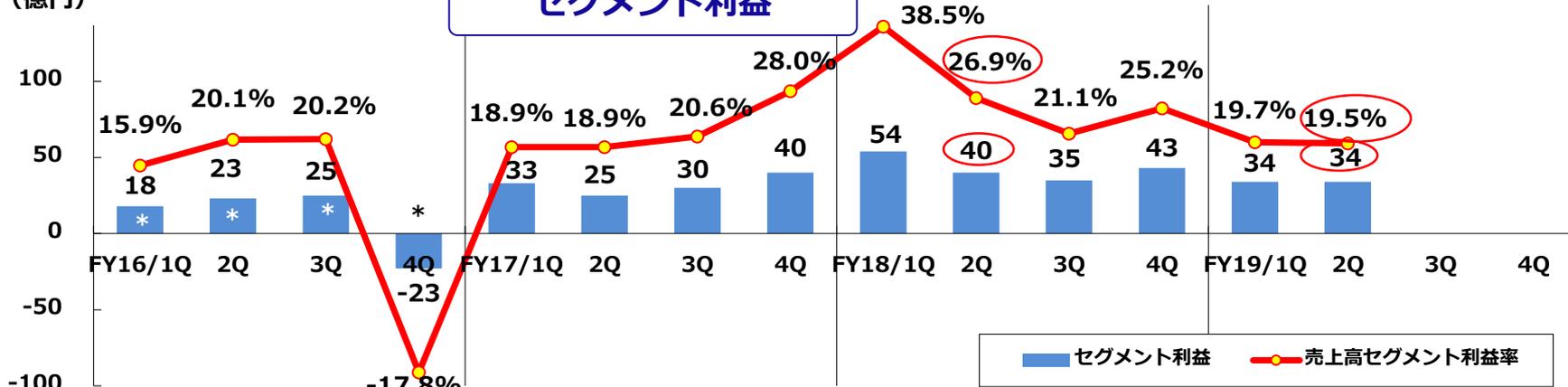


〔為替レート〕

	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q
¥/USD	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	109.6	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9		
¥/EUR	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	133.7	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0		
¥/RMB	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	17.2	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5		

(億円)

### セグメント利益

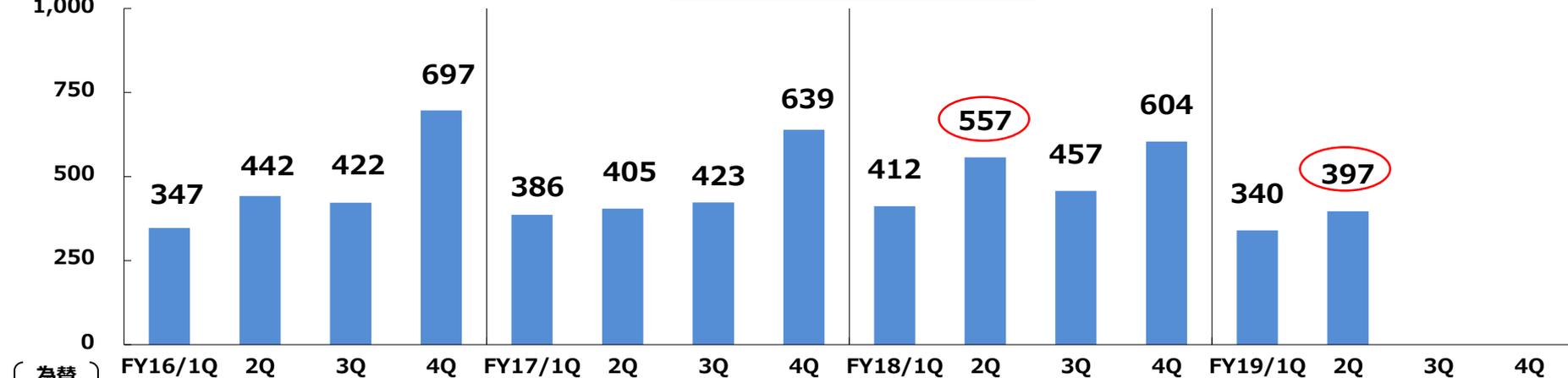


\* 中国の債権に係る引当金の計上を含む (FY16/1Q:▲10億円、2Q:▲5億円、3Q:▲2億円、4Q:▲49億円)

(億円)

1,000

### 売上高



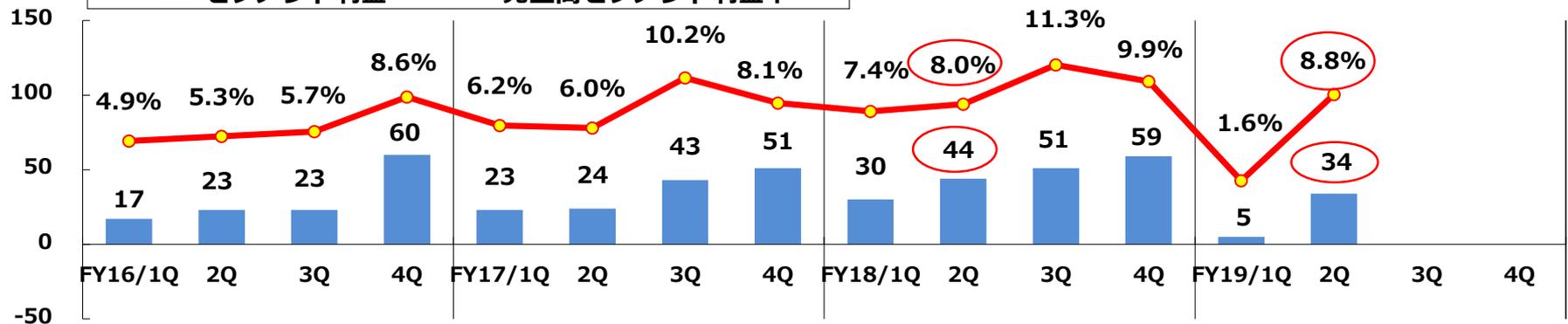
〔為替レート〕

	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q
¥/USD	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	109.6	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9		
¥/EUR	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	133.7	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0		
¥/RMB	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	17.2	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5		

### セグメント利益

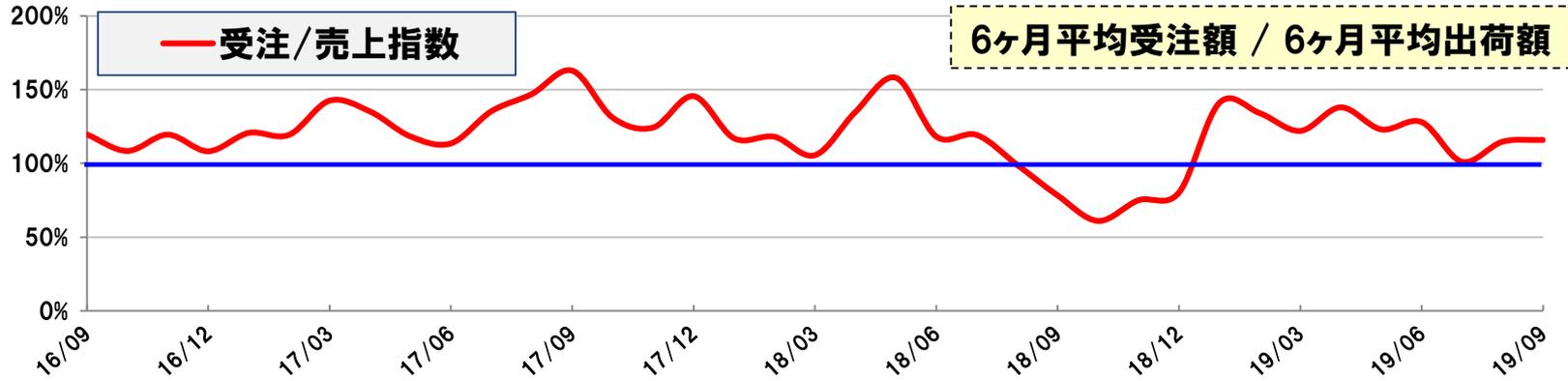
(億円)

■ セグメント利益    ● 売上高セグメント利益率



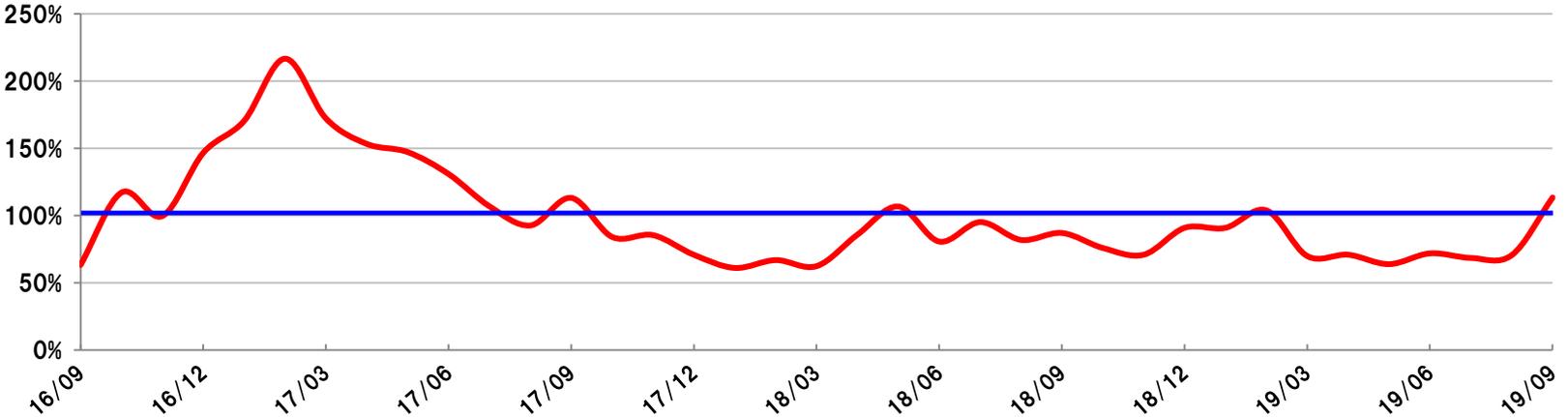
**コマツアメリカ  
(マイニング)**

730E, 830E  
860E  
930E, 960E  
980E



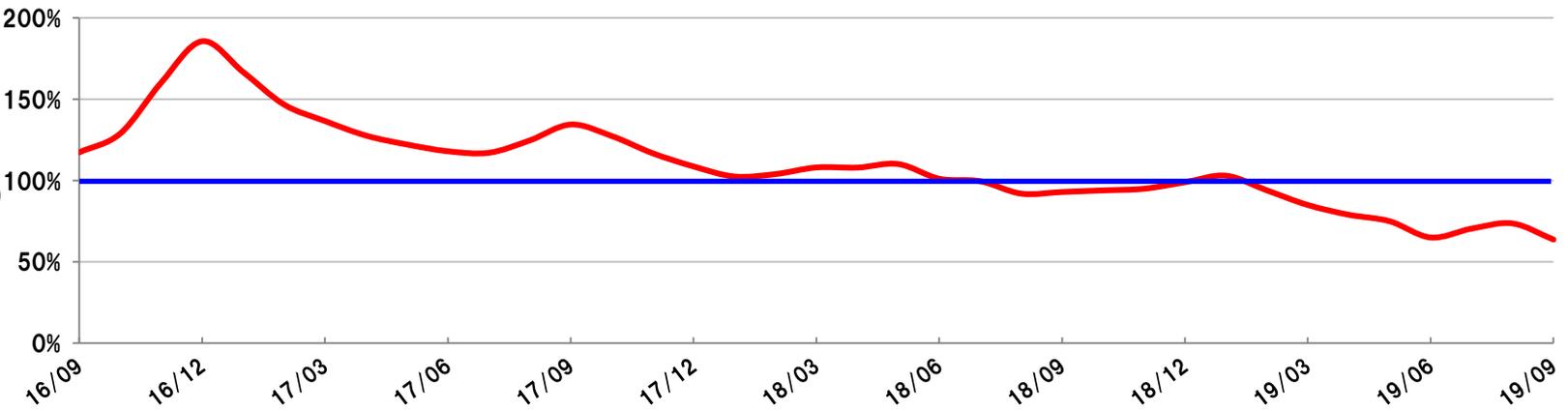
**コマツドイツ  
(マイニング)**

PC3000, PC4000  
PC5500, PC7000  
PC8000



**コマツ単独  
(マイニング)**

HD785, HD1500  
PC2000, PC3000  
PC4000  
WA800 up  
D375A up  
GD825A up

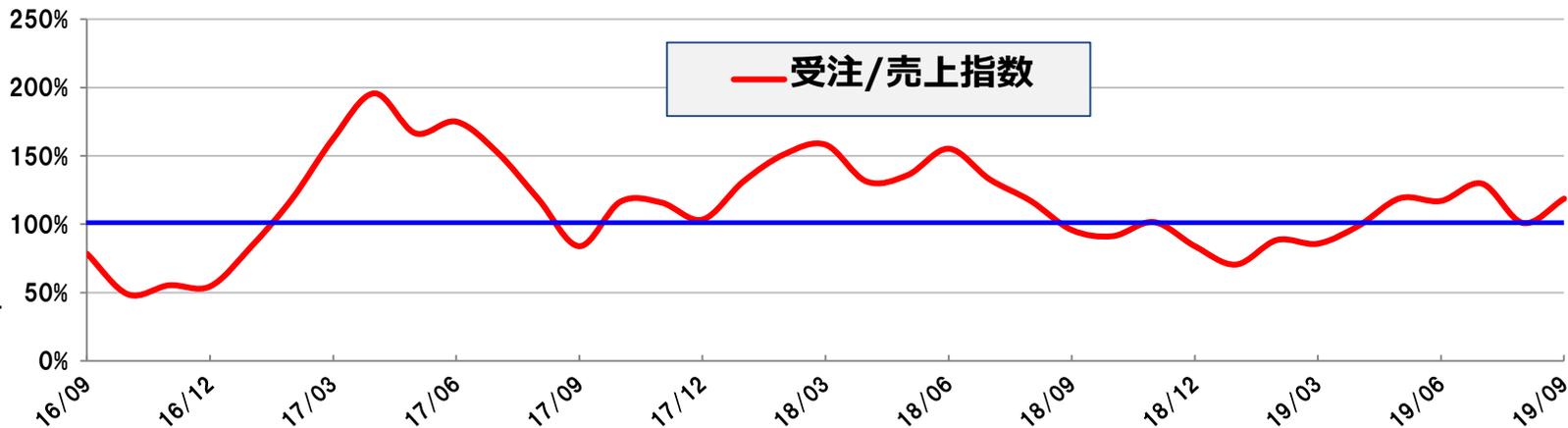


6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

**KMC**  
**(マイニング)**

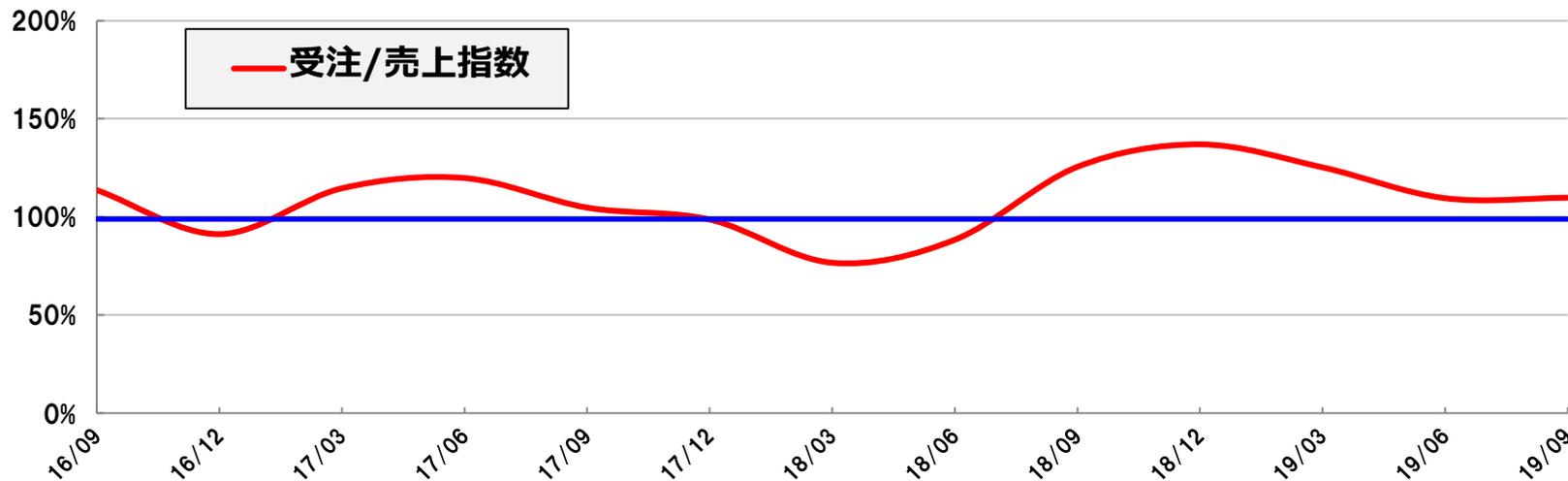
<露天掘り>  
ロープショベル  
ブラストホールドリル  
ドラグライン他

<坑内掘り>  
コンティニューアスマイナ  
シアラー  
ロードホールダンプ  
ドリルジャンボ他

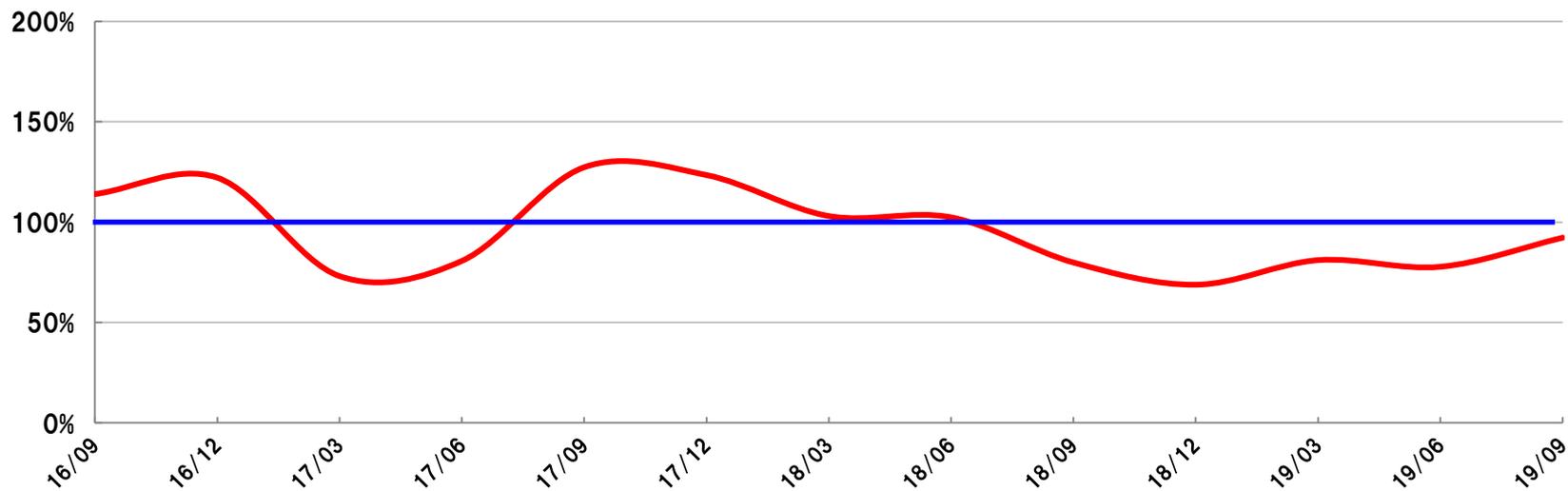


コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



コマツNTC





中期経営計画における「成長戦略による収益向上  
(財務指標)とESG 課題解決(非財務指標)の好循環  
で持続的成長を目指す」という価値創造モデルの紹介を  
中心に、

- ・社長メッセージ (中期経営計画)
- ・CFOメッセージ (財務戦略)
- ・ESG課題解決への貢献度を評価するための指標(KPI)
- ・人権に関する方針

などで構成されています。

**ESG課題解決への貢献度を評価するKPI**  
⇒ 来年度以降の報告書において、達成度を公表

#### 【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。